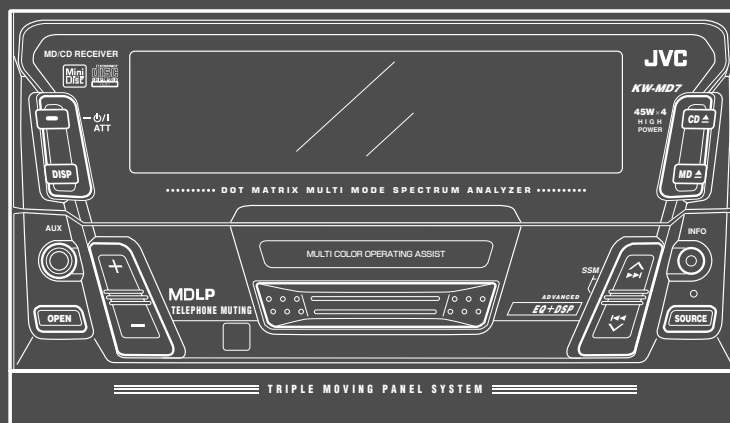


取扱説明書

JVC

KW-MD7

MD/CDレシーバー



MDLP



— お買い上げありがとうございます —

ご使用の前にこの「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

目次

● 主な特長	2
● 安全上のご注意	3～7
● 正しくお使いいただくために	8～9
● 各部の名前と働き	10～15
● リモコンの使いかた	16～17
● 基本操作	18～19
● 時計の合わせかた	20
● CLK DISP / BEEP音について	21
● 音量・音質の調節	22～23
● プリセットモードで使う <small>-DSP、EQおよびBASSをリンクさせて使う-</small>	24
● M-LINK機能について	25
● DSPの使いかた	26～27
● EQの使いかた	28～31
● スペアナ表示を変える	32
● マルチカラー表示部について	33
● MDを聞く	34～37
● CDを聞く	38～40
● ラジオを聞く	41～44
● CDチェンジャーのCDを聞く	45～47
● 他の機器の音を聞く	48～49
● CDの名前や放送局名などを表示させる	50～52
● 文字配列表	53
● スクロール表示のモードを変える	53
● 表示窓のモードを変える	54
● 表示窓の明るさ / コントラストを変える	55

● テレホンミュートについて	56
● MD/CDの盗難防止について	57
● 放送局名一覧	58～62
● 保証書とアフターサービス	63
● こんなときは	64～65
● 主な仕様	66～67
● お手入れ	裏表紙

主な特長

● 2 DINサイズのMD/CDレシーバー

- ・ MDLP対応(ステレオ 2倍長時間 / 4倍長時間再生)
- ・ CD-R / CD-RW対応(音楽用のCDフォーマットで記録したディスク)

ステレオステレオ対応

● SSM搭載チューナー

- ・ SSMによる放送局のメモリーが可能
- ・ 24局プリセット (FM⇒6局×2、AM⇒6局×2)

● チェンジャーコントロール機能

- ・ 12枚CDチェンジャー

● 最大出力45W×4chハイパワーアンプ内蔵

- M-LINK機能 マルチリンク

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



感電



指をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



水ぬれ禁止



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、障害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

警告

■本機はDC12V マイナスアース車専用です。



・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。

■配線作業中は、バッテリーの^{マイナス}端子を外してください。



・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

■本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。



・交通事故やけがの原因となります。

■車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。



・交通事故や火災の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・事故の原因となります。



警告

- コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

- 電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にお止めください。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

- 本機を分解したり、改造しないでください。



分解禁止

- ・事故・火災・感電の原因となります。

- 自動車を運転中に音量調節等の操作をしないでください。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。



- ・事故・火災・感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

- 万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



- ・そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

- 事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

⚠ 注意

■本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。



・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

■必ず付属の部品を指定通り使用してください。



・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

■雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。



・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

■振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避けてください。



・外れて事故やけがの原因となることがあります。

■本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。



・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■本機を不安定なところに取り付けしないでください。



・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

■正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。

■車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意してください。



・断線やショートにより、事故・感電・火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。



・ 車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に異物を入れないでください。



・ 火災や感電の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。



・ けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

- 本機を車載用として以外は使用しないでください。



・ 感電やけがの原因となることがあります。

- 指定の電池以外は使用しないでください。



・ 電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

- 電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れてください。



・ 間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

正しくお使いいただくために

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当り45W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨がかかったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後、CDやMDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。

(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してMDまたはCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●外国での使用は…

本機は日本国内用です。外国での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別紙の取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの^{マイナ}側が車の金属部に接続されていたり、^{マイナ}側同士が接続されていると故障の原因となります。

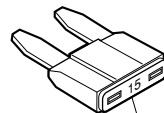
*BTL：Balanced Transformerlessの略

2組でパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください

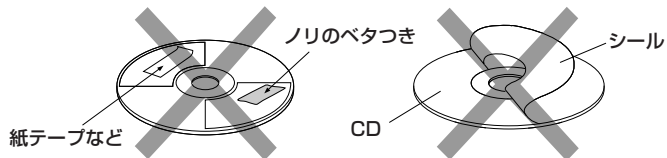
また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(15A)

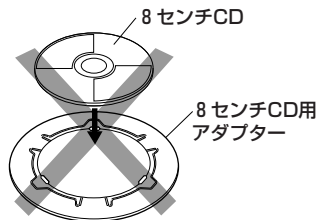
CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは**
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。
- **CD-R/CD-RWの取扱いについて**
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いいため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- **記録面やラベル面に紙テープやシールを張ったりしないでください。**
そのまま使用するとCDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。



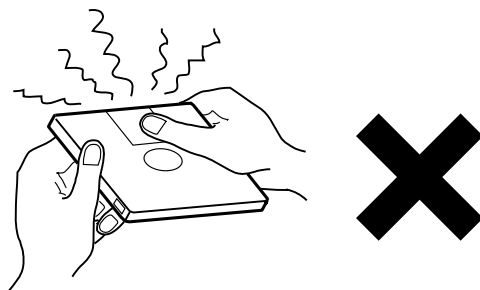
- **ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。**
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

- **8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。**
8センチCDは、そのまま挿入してください。



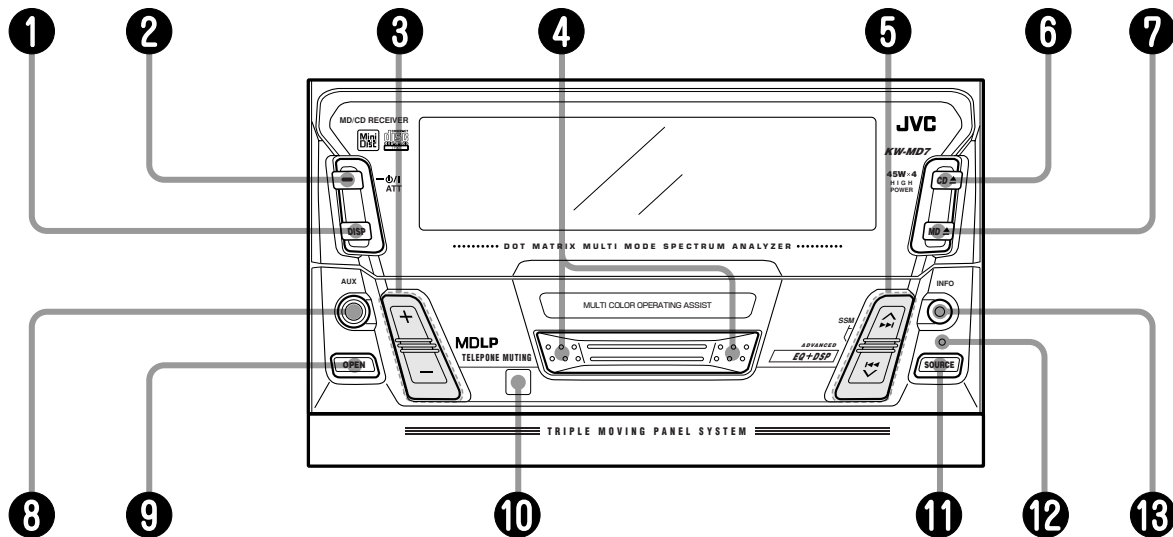
MDの取扱いについて

- **MDを保管するときは**
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。
MDのカートリッジが変形すると、使用できなくなります。
- **MDのシャッターについて**
MDのシャッターは開かないようにロックされています。無理に開けると、ディスクがこわれます。



- **MDカートリッジにラベルを張ってお使いになる場合**
ラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

各部の名前と働き(1)



1 ディスプレイ
DISPボタン
表示窓の表示を変えるとき使います。→37 51 ページ参照

2 電源(電源)ボタン
電源の「入」↔「切」や音量を一時的に下げることができます。
→18 19 ページ参照

3 +、- (音量)ボタン
電子ボリュームのレベルなどを調節することができます。
→18 20 22 ページ参照

4 マルチボタン
DSP、EQおよびディスプレイカラー、スペアナ*の内容を選ぶとき使います。→24 26 28 30 32 33 ページ参照
またプリセットの状態を選ぶこともできます。→24 ページ参照

*スペアナ(スペクトラムアナライザーの略)
ソースの音の周波数成分の分布を表示してくれます。

5 電波、FMボタン

●「ラジオ」のとき：

選局ボタンになります。→41ページ参照

電波とFMボタンを同時に押すと、SSMになり、電波状態の良い放送局が自動でプリセットボタンにメモリーすることができます。→43ページ参照

●「MD」、「CD」と「CD-CH」のとき：

曲の頭出しや早送り、早戻しができます。

→37 40 46ページ参照

6 CD▲(取出し)ボタン

CDを出し入れするとき使います。→38ページ参照

7 MD▲(取出し)ボタン

MDを出し入れするとき使います。→34ページ参照

8 AUX端子(φ3.5ステレオミニ)

市販のカーAV機器などを接続します。→48ページ参照

9 OPENボタン

コントロールパネルを出し入れするとき使います。→19ページ参照

10 リモコン受光部

付属のリモコン(RM-RK36)の信号をここで受信します。

→16ページ参照

11 SOURCEボタン

聞きたいソース(音源)を選ぶことができます。押しごとに

ラジオ → CD*1 → MD*1 → AUX

← CD-CH*2 ← と選べます。→18ページ参照

電源「切」のとき押すと、電源が入りコントロールパネルが出てきます。

* 1 本機にCDおよびMDが入っているとき

* 2 CDチェンジャーが接続されているとき

12 リセットボタン

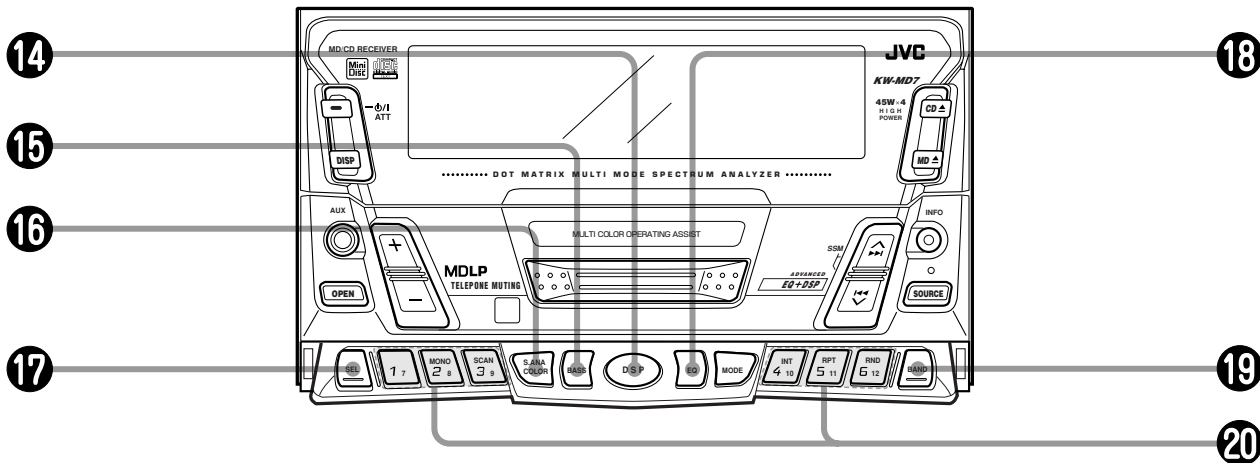
初めて電源を入れたときまたは、どのボタンを押してもうまく動作しなくなったとき、このボタンを押して内蔵のマイコンをリセットします。→64ページ参照

13 INFOボタン

道路交通情報(AM1,620kHz)を聞くとき使います。

→44ページ参照

各部の名前と働き(2)



14 ディエスピー
DSPボタン
 DSPのモードにするとき使います。→24ページ参照

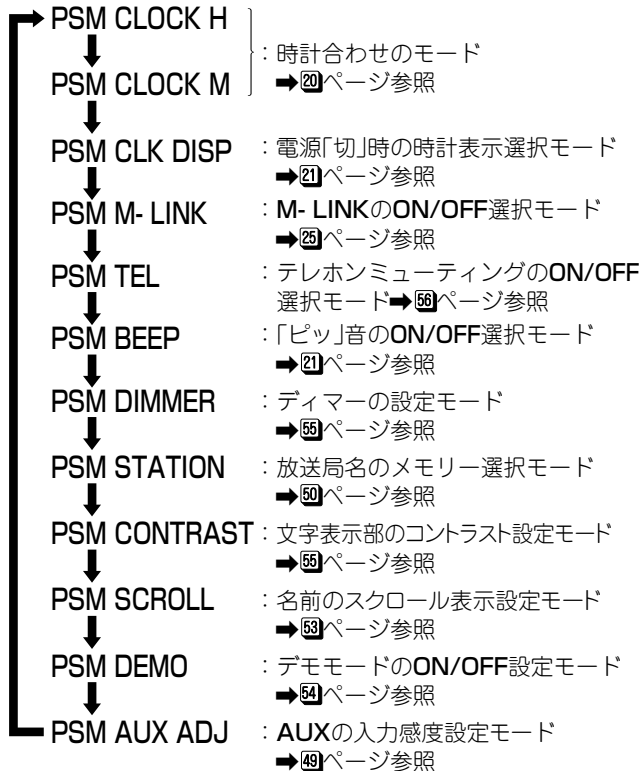
15 バス
BASSボタン
 重低音を調節するとき使います。→23ページ参照

16 スペアナ カラー
S.ANA/COLORボタン
 「ポン」と押すとマルチカラー表示部の色を選ぶモードになります。→33ページ参照
 「ポン・ポン」と2回押すとスペアナのモードになります。
 →22ページ参照

17 セレクト
SELボタン(1)
 音量調節のモードが選べます。押すごとに
 フェーダー バランス
FADER → BALANCE
 ↑ ボリューム ← エクスターナル ↓ ボリューム
VOLUME ← EXT VOL と選べます。
 →22ページ参照

17 ^{セレクト} SELボタン(2)

2秒以上押すと、お買い上げ時は「PSM CLOCK H」のモードになり時計合わせ(「時」の調節)ができます。このとき△(または▽)ボタンを押すと、下記のモードが選べます。



例は△ボタンを押したときです。▽ボタンでは逆に変わります。次からは選んだモードが優先的に表示されます。

18 ^{イコライザー} EQボタン

EQのパターンを呼び出すとき使います。→ 28ページ参照

19 ^{バンド} BANDボタン

FMとAMの間きたいバンドを選ぶとき使います。→ 41ページ参照

押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2→FM1…と順に変わります。

20 ¹⁷ ~ ^{RND} ^{5.2} ボタン

● ラジオのとき プリセットボタン

放送局をメモリー(記憶)したり、メモリーした放送局を聞くとき使います。FM、AMとも各バンドごとに6局ずつメモリーできます。→ 42ページ参照

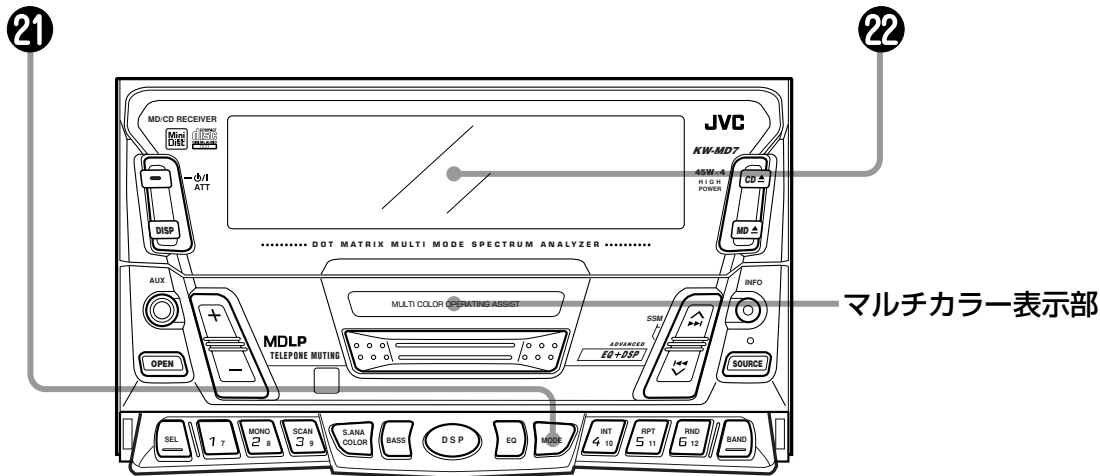
● 「MD」、「CD」のとき 曲番号ボタン

聞きたい曲を選ぶとき使います。→ 30 39ページ参照

● 「CD-CH」のとき CDダイレクト選択ボタン

CDチェンジャー内の聞きたいCDを直接選ぶとき使います。→ 46ページ参照

各部の名前と働き(3)



21 モード MODEボタン

DISP ~ MD ボタンのモードを変えるとき使います。
MODEボタンを押したあと、5秒以内に以下のボタンを押します。

・「ラジオ」のとき

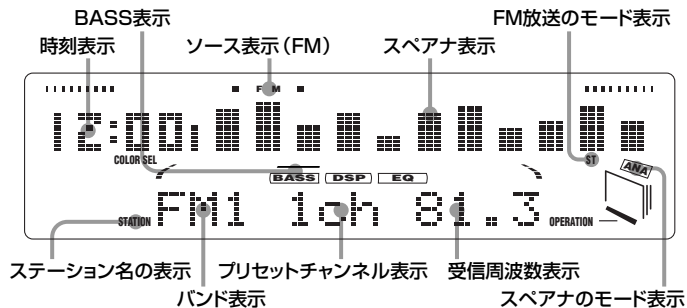
- モノラル
MONO 2 8 : MONOボタン → 43 ページ参照
- スキャン
SCAN 3 9 : SCANボタン → 42 ページ参照

・「CD」、「MD」および「CD-CH」のとき

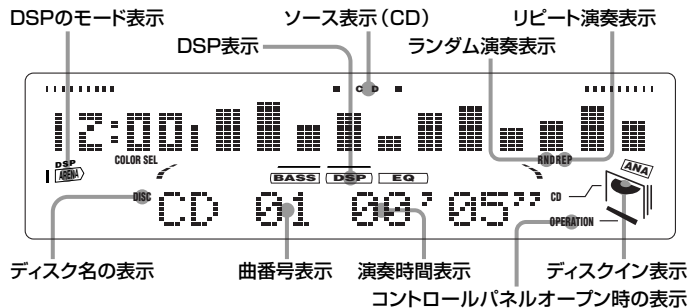
- イントロ
INT 4 10 : INTボタン → 36 40 47 ページ参照
- リピート
RPT 5 11 : RPTボタン → 36 40 47 ページ参照
- ランダム
RND 6 12 : RNDボタン → 36 40 47 ページ参照

22 表示窓

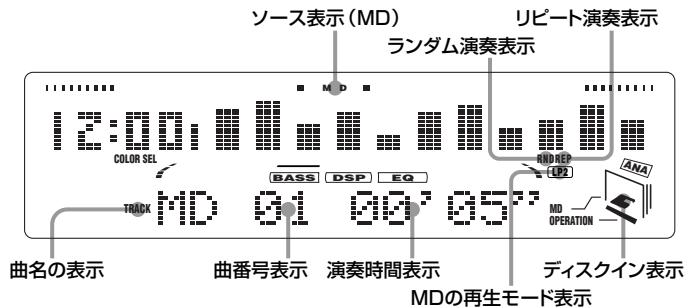
●「ラジオ」のとき



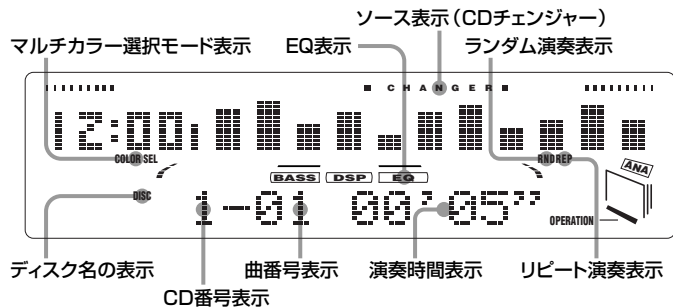
●「CD」のとき



●「MD」のとき



●「CD-CH」のとき

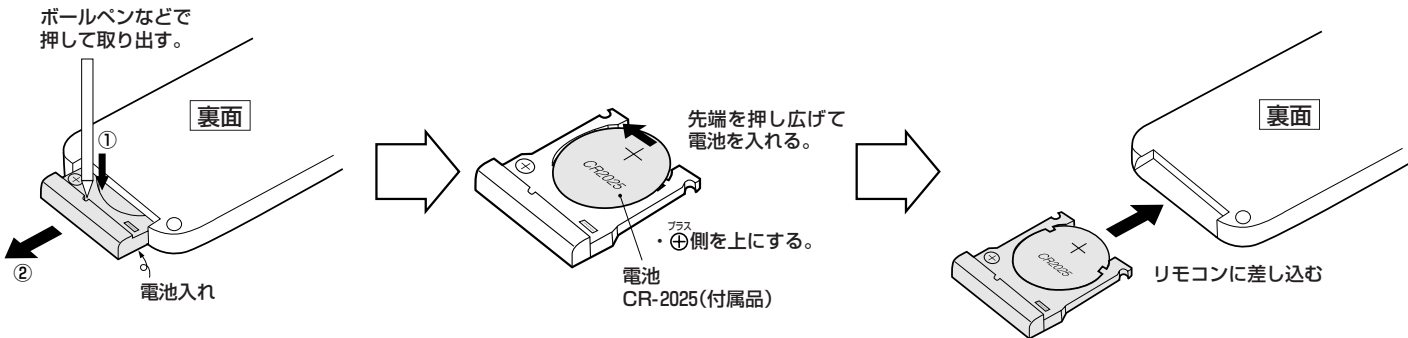


リモコンの使いかた

リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)

電池の入れかた

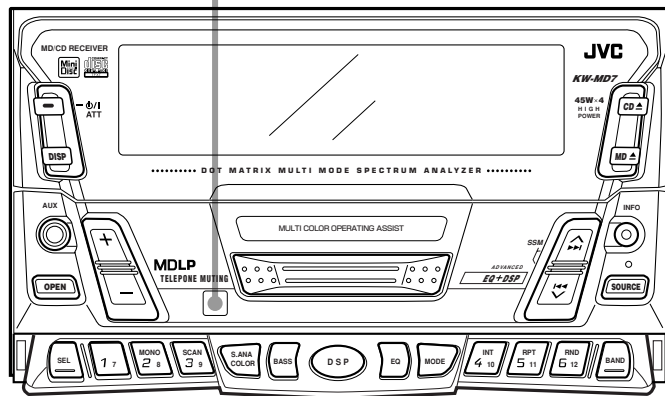


- 付属の電池は動作確認用です。
早めに新しい電池と交換してください。

● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

リモコン受光部



各部の名前と働き

電源/ATTボタン

1秒以上押しと電源の「入」↔「切」ができます。
「ポン」と押しと音量を一時的に下げることができます。

ディスク
DISC+ / バンド
BANDボタン

- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。
- ・「CD-CH」のとき：CDが選べます。
(PROGの機能はありません)

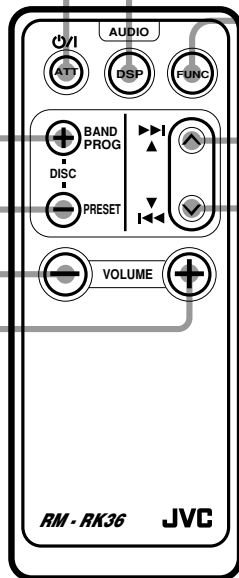
プリセット
DISC- / PRESETボタン

- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局
(1ch～6ch)の選局ができます。
- ・「CD-CH」のとき：CDが選べます。

ボリューム
VOLUME+、- (音量) ボタン

音量の調節ができます。

- ・+：音量が上がります。
- ・-：音量が下がります。



DSPボタン

DSPの音場を選ぶとき使います。

ファンクション
FUNCボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。
押しごとに

ラジオ → CD → MD → AUX → CD-CH

と変わります。ただし本体にMDやCDが入っていないか、CDチェンジャーが接続されていないときは、ラジオ ↔ AUXになります。なお、本体のSOURCEボタンのように電源を入れることはできません。

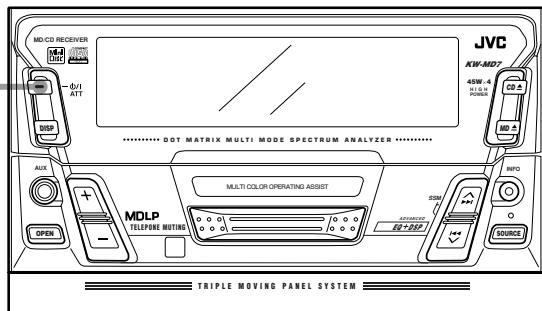
▲、▼ボタン

- ・「ラジオ」のとき：選局(自動選局)ができます。
- ・「MD」、「CD」と「CD-CH」のとき
：曲の頭出しや早送り、早戻しができます。
(▲と▼の機能はありません)

基本操作

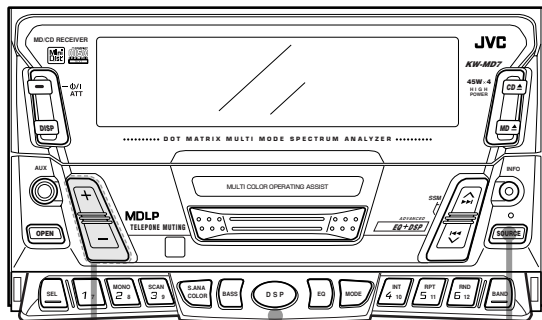
— 番号順に操作します。 —

●電源「切」のときは



1

●電源が入ったときは



3

コントロールパネル

2

1 電源(電源)ボタンを押す



・電源が入り、コントロールパネルが出てきます。表示窓に「HELLO！」が表示され、ソース(音源)は、お買い上げ時「ラジオ(FM1)」になります。

2 SOURCEボタンを押して聞きたいソース(音源)を選ぶ



- ラジオ : FMまたはAM放送
→ 41 ページ参照
- CD*1 : 本機に入れたCDの音
→ 39 ページ参照
- MD*1 : 本機に入れたMDの音
→ 34 ページ参照
- AUX : 他の機器の音
→ 48 ページ参照
- CD-CH*2 : CDチェンジャーの音
→ 49 ページ参照

*1 CDおよびMDが入っているときのみ

*2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

3 +、- (音量) ボタンで音量を調節する



ボリューム
・VOLUME00～VOLUME50の範囲で調節できます。

● コントロールパネルを出し入れする



電源が入っているとき、**OPEN**ボタンを「ボン」と押します。押すごとに出たり、中に引き込まれたりします。

● 自動でコントロールパネルを収納する



・ 2秒以上押す。

電源が入っているとき、**OPEN**ボタンを2秒以上押すと、表示窓に「**FLAT ON**」が表示されます。15秒以上ボタン操作をしないと、自動でコントロールパネルが中に引き込まれます。この場合電源を入れ直したとき、コントロールパネルは出てきません。ただし、**OPEN**ボタンを押すことで出し入れすることはできません。もう一度2秒以上**OPEN**ボタンを押すと、「**FLAT OFF**」が表示されコントロールパネルは自動で収納されなくなります。

● 音量を一時的に下げる



・ 「ボン」と押す。

表示窓に「**ATT**」が点滅表示されます。もう一度「ボン」と押すと、元の音量に戻ります。

● 電源を「切」にする



・ 1秒以上押す。

ATT (電源) ボタンを1秒以上押します。表示窓に「**SEE YOU**」が表示されコントロールパネルが中に引き込まれ、電源が切れます。車のエンジンキーを「**OFF**」にしたときも同じです。

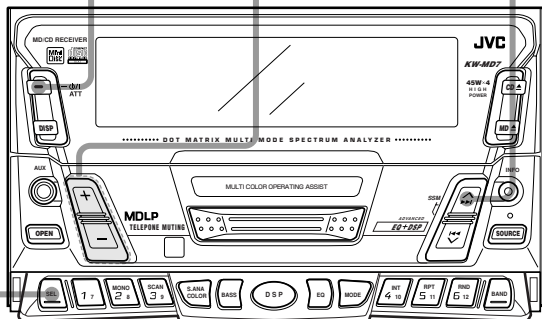
〈お知らせ〉

- 電源を「切」にしてもソース(音源)は、メモリーされています。次に電源を入れたときは、聞いていたソース(音源)で演奏が始まります。
- 電源を「切」のときも**CD**や**MD**の出し入れができます。**CD**▲(取出し)ボタンまたは**MD**▲(取出し)ボタンを押してください。挿入口が現われます。**CD**や**MD**を入れると電源が入り、コントロールパネルが出てきます。

時計の合わせかた

— 本機に内蔵の時計を現在時刻に合わせておきます。 —

2 **1** **3-1・3-3** **3-2**



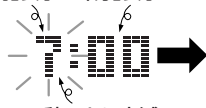
3 +、- (音量) ボタンと Δ ボタンで現在時刻に合わせる (時刻表示点滅中に操作します)

例：7時30分に合わせるとき (12時間表示方式です)

3-1 「時」を合わせる



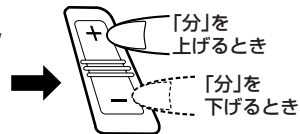
「時」表示 「分」表示



1秒ごとに点滅

・調節中は文字表示部にCLOCK HOURが表示されます。

3-2 「PSM CLOCK M」を ^{ミニッツ} 3-3 「分」を合わせる表示させる



・調節中は文字表示部にCLOCK MINUTEが表示されます。

- ・時刻合わせが終わったあと、15秒で自動的に元のソース (音源) 表示に戻ります。すぐに戻りたいときはSELボタンを「ボン」と押します。
- ・時刻を合わせ直すときも2~3の操作をします。
- ・本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- ・「時」が変わるとき、下側の文字表示部に時刻を5秒間表示 (例:10時00分のときは「10:00」を表示) します。→CLK DEMO機能
- ・お買い上げ時は、電源「切」のとき時計が表示されないようになっていきます。表示されるようにすることもできます。→P.10ページ参照
- ・バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れると、設定した時刻は取り消されます。もう一度時刻合わせをしてください。

1 ϕ /ATT (電源) ボタンを押して電源を入れる (HELLO! が表示されます)



・電源を切る前のソース (音源) が表示されます。

2 SELボタンを2秒以上押して「PSM CLOCK H」を表示させる



→ PSM CLOCK H

- ・「PSM CLOCK H」以外の表示が出たときは、 Δ (または ∇) ボタンを「ボン・ボン」と押して選びます。
- ・2秒以上押す。

CLK DISP / BEEP音について

電源「切」のとき時計を表示させる

電源「切」のとき表示窓に時計を表示させることができます。また表示窓の背面照明やボタンの照明も「オン」のままになります。

1 SELボタンを2秒以上押す



2秒以上押す。

2 ▲(または▽)ボタンを「ポン・ポン」と押して「PSM CLK DISP」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンの+側を押して「CLK DISP ON」にする



・一側を押すと「OFF」に戻せます。

- ・「CLK DISP ON」にすると、本機の電源「切」のとき表示窓に時計が表示されます。
- ・車のエンジンキーをオフにした場合、本機の電源が「切」にならない車種の場合は、「CLK DISP ON」にしないでください。バッテリーを消耗する原因となります。
- ・リモート出力を車両のオートアンテナに接続しないでください。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

ボタンを押したときの「ピッ」音を、鳴らなくする

ボタンを押したときの「ピッ」音を、鳴らなくすることができます。

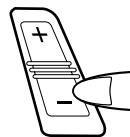
1 SELボタンを2秒以上押す



2秒以上押す。

2 ▲(または▽)ボタンを「ポン・ポン」と押して「PSM BEEP」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンの-側を押して「BEEP OFF」にする



「OFF」にするとき

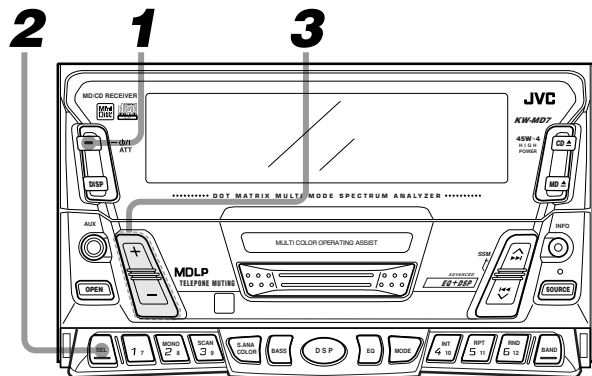
・「BEEP OFF」にすると、ボタンを押したときの「ピッ」音が鳴らなくなります。

(鳴らすように戻すときは、+側を押して「BEEP ON」にします)

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

音量・音質の調節



＜お知らせ＞

- 調節したレベルはメモリー（記憶）されます。電源を切っても次に電源を入れたときは、電源を切る前のレベルが表示されます。
- フェーダー調節は4スピーカー接続のときのみ調節してください。
- EXT OUT端子からの出力は、本機のフェーダー調節とは連動しておりません。サブウーハーを接続するときは、必ずフィルター内蔵のパワーアンプ等を使用してください。

1 ①/ATT (電源) ボタンを押して電源を入れる (HELLO! が表示されます)



- ・ 電源を切る前のソース (音源) が表示されます。

2 SEL ボタンを押して調節したいモードを選ぶ



- ・ 「ボン・ボン」と押すごとに表示窓に

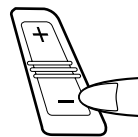
FADER → BALANCE
 VOLUME ← EXT VOL

と変わります。ただし VOLUME (音量) 調節のみの場合、この操作は、必要ありません。直接 +、- (音量) ボタンで調節できます。

- ・ 「ボン」と押す。

3 +、- (音量) ボタンを押して調節する

- ・ 調節したレベルが表示窓に表示されます。



VOLUME (音量)	音量が下がる	音量が上がる
FADER (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
BALANCE (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
EXT VOL (EXT OUTの音量)	EXT OUTの音量が下がる	EXT OUTの音量が上がる

- 調節が終わってから5秒後に、表示窓は前の表示に戻ります。

● 初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
VOLUME(音量)	15	00~50
FADER(フェーダー)	00(センター)	リア R 6 ~ フロント F 6
BALANCE(バランス)	00(センター)	レフト L 6 ~ ライト R 6
EXT VOL (EXT OUTの音量)	+7	00~+12

● 音量調節について

MD(CD)の演奏は、無音状態での雑音がほとんどありません。気づかずに大きめの音量に調節すると、思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損する恐れがあります。電源を切る前に音量を下げておき、演奏がスタートしてから適度な音量に合わせてください。

● 重低音を調節する

重低音を調節するときは、BASSボタンをします。



ピッ

15秒以内に



増強するとき

減衰するとき

- ・「ポン」と押す。
お買い上げのときは、BASS_4が表示されます。

- ・BASS_0~BASS_8の範囲で調節できます。

調節中は  が表示されます。

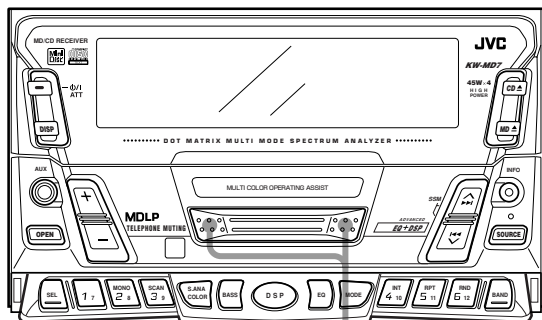
- ・重低音のレベルの前に表示されている数字は、プリセット番号です。→24ページ参照

調節後、すぐに元の表示に戻したいときは、もう一度BASSボタンを「ポン」と押します。

＜お知らせ＞

- BASSのレベルは「M-^{マルチ}LINK ON」にすると、ソース(音源)ごとに設定された内容に変わります。
- リセットの操作をすると調節したレベルは、お買い上げ時の状態に戻ります。→31ページ参照

プリセットモードで使う – DSP、EQおよびBASSをリンクさせて使う –



1

*通常状態とは…

DSP、EQ、BASS、ANA、COLOR切換えが調節モードになっていない状態のことです。

プリセットの内容を変更する

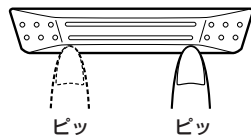
- プリセットされている内容(DSP、EQおよびBASS)を調節すると、その内容に変更されます。

変更するときは、手順1の操作のあと以下のページをご覧ください。

- ・ DSPの調節 → 27ページ参照
- ・ EQのパターンの調節 → 29ページ参照
- ・ BASSの調節 → 23ページ参照

● 通常状態*のとき

1 マルチボタンを押す



- ・ 逆に変わります。
- ・ 押すごとに選べます。

・ DSP、EQおよびBASSをリンクさせた内容が呼出せません。お買い上げ時「M-LINK OFF」のときは、5 DEFEAT⇒Flat⇒BASS_4の順で表示されます。どのソース(音源)も同じ内容になります。



- BASSの内容が表示されたあと、ソース(音源)の表示に戻ります。

M-LINK機能について

M-LINK機能について

M-LINK(マルチリンク)とは、各ソース(音源)ごとにDSP、EQ、およびBASSを調節し本機にメモリーしておく機能のことです。お買い上げ時は、M-LINK「OFF」に設定されており各ソース(音源)とも同じ内容になります。

マルチリンク ●M-LINK機能を「オン」にする

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ♪(または♥)ボタンを「ボン・ボン」と押して「PSM M-LINK」を選ぶ

3 +、-(音量)ボタンの+側を押して「M-LINK ON」にする



- ・「オン」になると各ソース(音源)ごとにあらかじめプリセットされているDSP、EQおよびBASSに変わります。
- ・「M-LINK OFF」に戻すときは、+、-(音量)ボタンの-側を押します。

4 SELボタンを押す

- ・元のソース(音源)表示に戻ります。

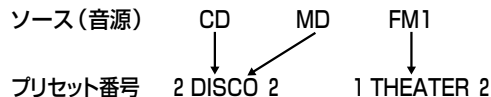
●「M-LINK ON」にすると

各ソース(音源)ごとに7つのプリセットから選べます。

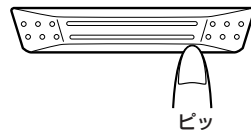
ソース(音源)	プリセット番号とDSPの表示
CD	1 THEATER_2
MD	2 DISCO_2
FM1/FM2	3 LIVE_2
AUX	4 OPERA_2
AM1/AM2/INFO	5 DEFEAT_2
CD-CH	6 ARENA_2

お買い上げ時の設定内容です。EQとBASSの内容も表示したあと、ソース(音源)の表示に戻ります。
→24ページの1参照

マルチボタンを押すとソース(音源)ごとに好みのプリセット番号を選ぶことができます。



例：CDとMDを「2 DISCO_2」、FM1を「1 THEATER_2」にしたとき



またDSP、EQおよびBASSのプリセット内容を調節することもできます。

DSPの使いかた

- ・本機には、あらかじめ7つの音場がメモリーされています(これをメーカープリセットといいます)。
ソース(音源)の再生音に合わせてマルチボタンを押せば、演奏会場や劇場の雰囲気が再現されます。

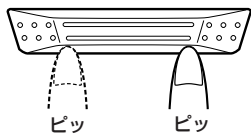
●メーカープリセット音場の呼び出し

1 DSPボタンを押す



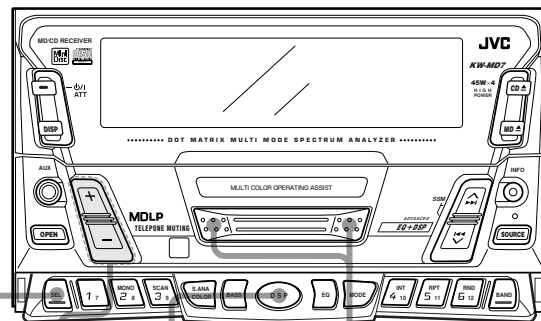
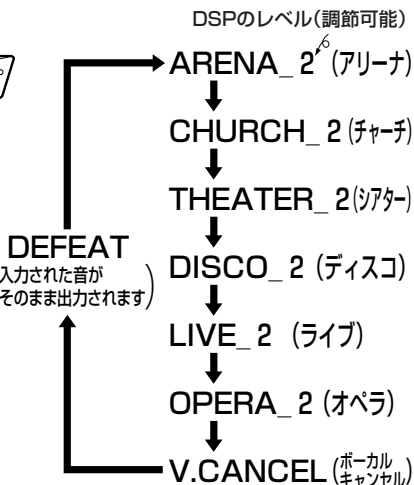
- ・ **DSP** が表示され、設定されているDSP (お買い上げ時は「DEFEAT」)が表示されます。
- ・ 各音場の前に表示されている数字は、プリセット番号です。→24ページ参照

2 マルチボタンで音場を選ぶ



- ・ マルチボタンの右側を押した場合です。左側を押すと逆に選べます。

- ・ 15秒後にソース(音源)の表示に戻ります。すぐ戻りたいときは、DSPボタンを押します。



4 3-5 1 2

音 場	例えばこんな音楽の再生に
アリーナ	・ 野外で収録されたコンサートのライブ盤
チャーチ	・ バロック音楽 ・ ゴスペル調のソウルフルサウンド
シアター	・ 映画音楽 ・ ビデオソフトの音声
ディスコ	・ パワフルなロックやポップス系の曲
ライブハウス	・ ヘビメタルやロックバンドの演奏
オペラハウス	・ オペラやミュージカルなど
ボーカルキャンセル	・ 歌入りの曲をカラオケにするとき

DSPのレベル調節およびリスニングポジションの設定

アリーナ～オペラはDSPのレベルを変えることができます。カーDSPの目的は、生演奏会場の臨場感を再現することですがこのためには、車室内の非対称音場の改善が必要になります。リスナーの位置に合わせてフォーカスのモードを選んでください。

1 DSPボタンを押す



- ・ **DSP** が表示され、設定されているDSPが表示されます。
- ・ 各操作は15秒以上間隔をあけないでください。

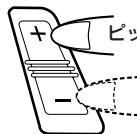
2 マルチボタンで音場を選ぶ(→24ページ参照)



例：ディスコするとき

5 DISCO_2

3 +、- (音量) ボタンでレベルを調節する



レベルを上げるとき

5 DISCO_3

レベルを下げるとき

5 DISCO_2

5 DISCO_1

4 SELボタンを5回押してフォーカスのモードにする



・ 5回押す。

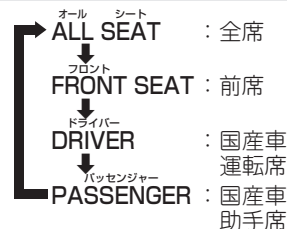


- ・ お買い上げ時は **ALL SEAT** が表示されます。

5 +、- (音量) ボタンでモードを選ぶ



逆に選べます。



〈お知らせ〉

- ・ DEFEATおよびV. CANCELのレベルを変えることはできません。
- ・ リセットの操作をすると調節したレベルは、お買い上げ時の状態に戻ります。→21ページ参照


EQの使いかた

・本機には、あらかじめ9つのEQパターンがメモリーされています(これをメーカープリセットといいます)。

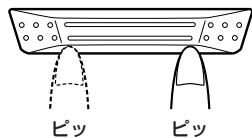
●メーカープリセットの呼び出し

1 EQボタンを押す



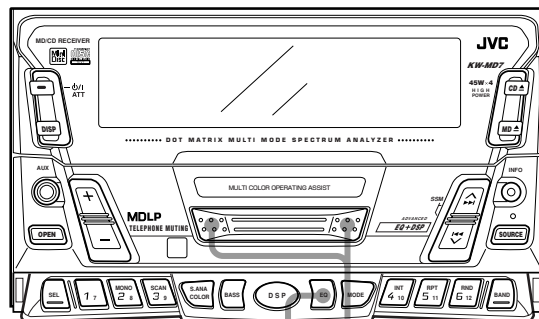
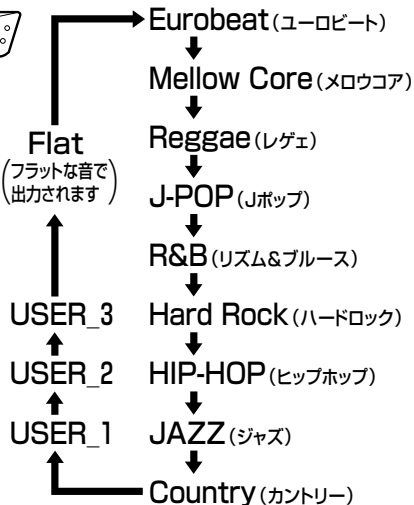
- ・  が表示され、設定されているEQパターン(お買い上げ時は「Flat」)が表示されます。
- ・ 各EQパターンの前に表示されている数字は、プリセット番号です。→ [24](#) ページ参照

2 マルチボタンでEQパターンを選ぶ



・マルチボタンの右側を押した場合です。左側を押すと逆に選べます。

↓
・15秒後にソース(音源)の表示に戻ります。すぐ戻りたいときは、EQボタンを押します。

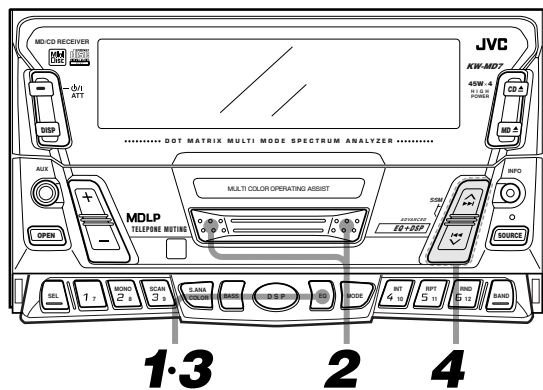


1 2

＜お知らせ＞

- ・メーカープリセットのEQパターンは、音楽のジャンルなどに合わせて選んでください。
- ・USER_1～USER_3には、ご自分で調節したEQパターンがメモリーできます。お買い上げ時はFlatと同じEQパターンになっています。またリセットの操作をすると調節した内容は、お買い上げ時の状態に戻ります。→ [31](#) ページ参照

EQパターンを調節する



1 EQボタンを押す

・各操作は15秒以上間隔をあげないでください。

2 マルチボタンでEQパターンを選ぶ (→ 28ページ参照)

・EQパターンが「Flat」のときは、調節できません。

3 EQボタンを2秒以上押す



・お買い上げ時は「LOW」が表示されます。

・2秒以上押す。

4 ▲(または▼)ボタンで調節したい帯域を選ぶ

中心周波数

HIGH : 高域 (8 kHz / 12 kHz)
 ↓
 MID : 中域 (700Hz / 1 kHz / 2 kHz)
 ↓
 LOW : 低域 (50Hz / 80Hz / 120Hz)

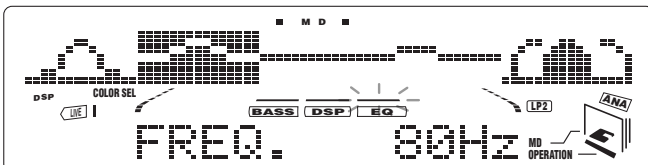
帯域を上げるとき
 ↑
 ピッ

帯域を下げるとき
 ↓
 ピッ

30 ページへ続く

7 手順4~6をくり返し各帯域の内容を調節する

例：中心周波数が80Hzのとき



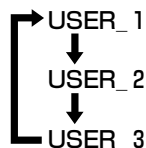
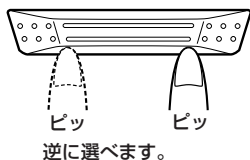
・同じ帯域のときは、マルチボタンで調節したい内容を選んでから設定します。メーカープリセットの内容のままでも使えます。

●メモリーしておくとき

8 EQボタンを押す

・USER_1～USER_3のいずれかにメモリーしておくことができます。

9 マルチボタンでメモリー先を選ぶ



10 EQボタンを押す

・調節したEQパターンがメモリーされます。

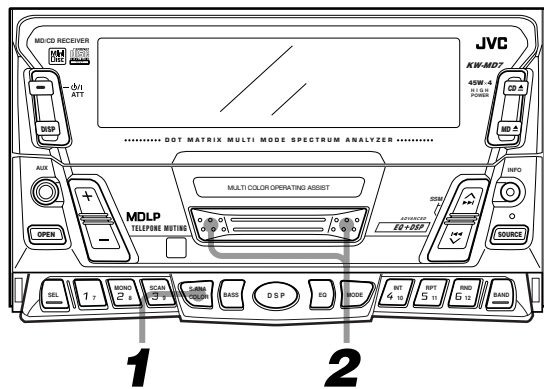
●プリセット内容をお買い上げの状態に戻す



調節したDSP、EQおよびBASSの内容がお買い上げ時の状態に戻ります。ただし、USER_1～USER_3にメモリーしたEQパターンはリセットされません。

スペアナ表示を変える

- ・お買い上げ時は、表示窓がスペアナ表示のALL DEMOになっており、マルチボタンでスペアナ表示を変えることができます。



〈お知らせ〉

- ・PEAK HOLD 2、SILHOUETTE、3D VIEW、BIG BANG、SIDE WINDERのときは、スペアナを5分間表示することにアニメーションが表示されます。

● スペアナ表示の選択

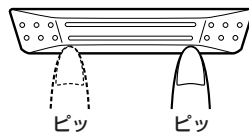
1 S. ANAボタンを2回押す



- ・「S. ANA」と表示されたあと設定されているスペアナ(お買い上げ時は「ALL DEMO」)が表示されます。
- ・ANA表示が点滅に変わります。

・2回押しで離す。

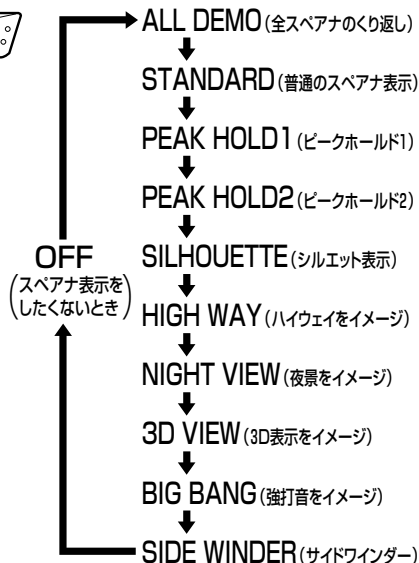
2 マルチボタンでスペアナを選ぶ



- ・マルチボタンの右側を押した場合です。左側を押すと逆に選べます。

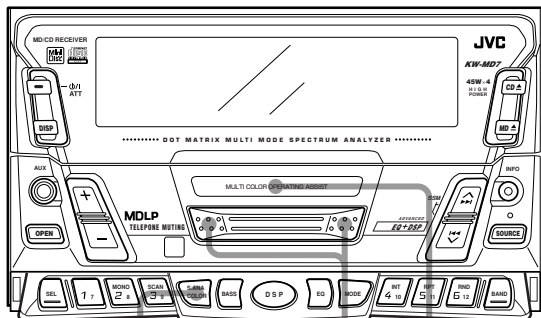


- ・15秒後にソース(音源)の表示に戻ります。すぐ戻りたいときは、S.ANAボタンを押します。



マルチカラー表示部について

- お買い上げ時は、「TIME」に設定されており、マルチボタンでお好みの色に変えることができます。また動作状態に応じて色が変わります。



1 **2** マルチカラー表示部

● MULTI COLOR OPERATING ASSIST(マルチカラーオペレイティングアシスト)について

動作状態に応じてマルチカラー表示部の色が変わります。

	マルチカラー表示部の色
+, 上ボタンを押したとき	REDが1回点灯
-, 下ボタンを押したとき	BLUEが1回点灯
コントロールパネルの出し入れのとき	PINKが1回点灯
CDの出し入れのとき	GREENの点滅
MDの出し入れのとき	BLUEの点滅
CDまたはMDの挿入口が見えているとき	YELLOW点灯 (「OFF」時も点灯)
テレホンミュージック動作中	YELLOWの点滅

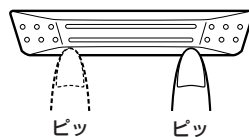
● マルチカラー表示部の色を変える

1 COLORボタンを「ポン」と押す



- 「COLOR」と表示されたあと設定されている色(お買い上げ時は「TIME」)が表示されます。
- COLOR SEL表示が点滅に変わります。

2 マルチボタンで色を選ぶ



逆に進べます。

- 15秒後にソース(音源)の表示に戻ります。すぐ戻りたいときは、COLORボタンを2回押します。

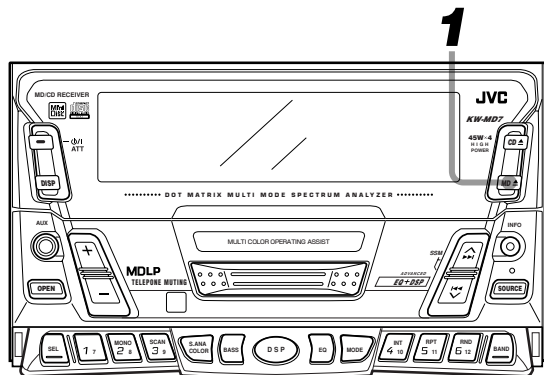
* ソース(音源)ごとのマルチカラー

- FM1, FM2 : PINK
- AM1, AM2 : YELLOW
- MD : BLUE
- CD : GREEN
- AUX : LIGHT BLUE
- CD-CH : PURPLE
- INFO : RED



MDを聞く

— 番号順に操作します。 —



MDを挿入するときは

- 故障を防止するため次のことを確認してください。
 - ・ラベル面を上にする。
 - ・挿入方向の⇨や▷の表示に従って本体に入れる。
 - ・無理に押し込まない。
 (途中まで入れると自動で引き込まれます)
 - ・ラベルのはがれがかったMDは使用しない。
 - ・カートリッジ表面のほこりやゴミはふき取ってから入れる。

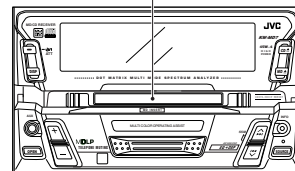
ご注意

- MDを出し入れするとき、コントロールパネルが中に入ったり操作パネルが上下します。このとき指をはさまれないようご注意ください。

1 MD▲(取出し)ボタンを押す



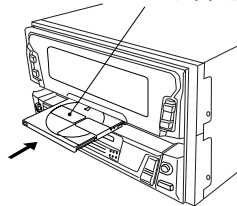
MD挿入口



- ・コントロールパネルが中に入り、MDの挿入口が現われます。電源「切」のときは、いったん電源が切れます。

2 MDを入れる

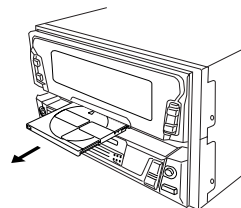
ラベル面を上



MD 01 00' 05"

- ・ソース(音源)が「MD」になり曲数と演奏時間が表示されたあと、1曲目から演奏が始まります。
- ・MDが入っていることを表すMDと◀が表示されます。

- MDを取り出すときはMD▲(取出し)ボタンを押します。エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。MDが出てきたのち電源が切れます。



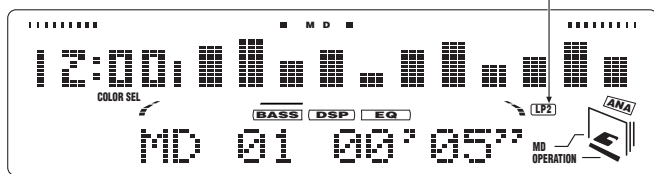
ステレオ2倍長時間再生／4倍長時間再生について

本機はMDLPに対応しております。したがって録音モード(SP、LP2またはLP4)に関係なく演奏できます。LP2またはLP4で録音したMDを演奏すると、表示窓に[LP2]または[LP4]が表示されます。なお、SPの表示はありませんが標準モードで再生されます。

- SP : 標準のステレオ再生(MD80で最大80分)
- LP2 : 2倍長時間再生(MD80で最大160分)
- LP4 : 4倍長時間再生(MD80で最大320分)

例：LP2で演奏のとき

ステレオ2倍長時間再生の表示



● MDLPについて

MDLPはMD規格に適合し、新しい音声圧縮方式のATRAC3を採用したステレオ2倍(または4倍)長時間録音・再生モードの機能を持ったMDレコーダー/プレーヤーまたはATRAC3による音声録音されているMDメディア(レコーダブル・メディアを除く)に表示されています。

● MDを入ると…

ソース(音源)は、自動的に「MD」になり演奏がスタートします。またMD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。またモノラルで録音されたMDを入ると、自動的にモノラルで演奏されます。

● データ用MDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

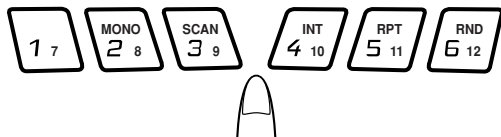
〈お知らせ〉

- MDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDは、標準モード(SP)で再生できます。
- モノラルで録音されたMDを演奏した場合、演奏時間が正確に表示されないことがあります。

MDを聞く(つづき)

ダイレクト演奏

演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- 1～6曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき
- 7～12曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。
例：11曲目のとき



- 13曲目以上は、演奏中に△ボタンを押して聞きたい曲番号を選びます。→ 77ページ「スキップ演奏」参照

1曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



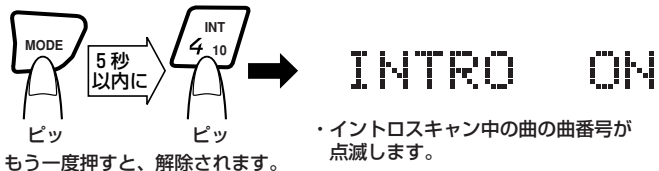
ランダム演奏

演奏中のMDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



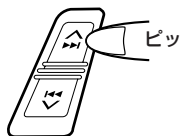
イントロスキキャン

イントロスキキャン中は、曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったらイントロスキキャンを解除します。



スキップ演奏(曲の頭出し)

● 演奏中に次の曲を聞く



・▶ボタンを「ポン」と1回押すごとに次の曲の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

● 演奏中に前の曲を聞く



・◀ボタンを「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう一回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

・演奏中のMDの好みの位置を探るときは、早送り・早戻しの機能を使います。



早送りをするとき
押し続ける

早戻しをするとき
押し続ける

サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すと普通の演奏に戻ります。

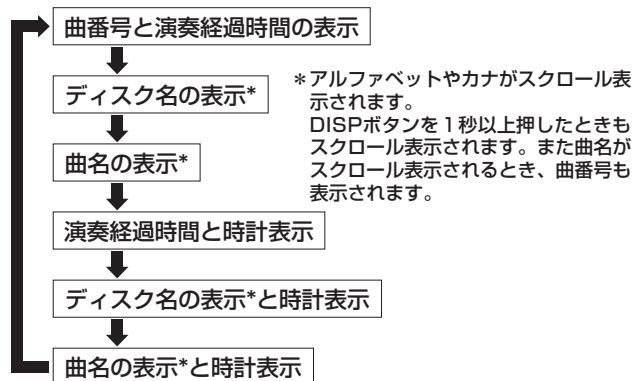
表示窓にディスク名を表示させる

MDを挿入すると演奏がスタートし、表示窓に「ディスク名→曲名→曲番号と演奏経過時間」が順に表示されます。

DISPボタンを「ポン・ポン」と押すと、ディスク名などを表示させることができます。



・押すごとに変わります。



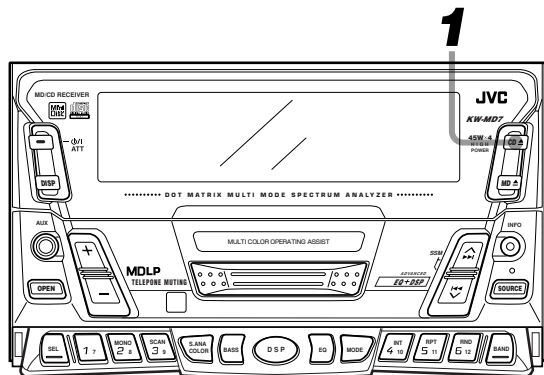
なお、MDにディスク名や曲名が記録されていないときは表示されません。「NO NAME」が表示されます。

〈お知らせ〉

スクロール表示は、お買い上げ時は1回自動でスクロール(ONCE)の状態になっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。▶59ページ参照

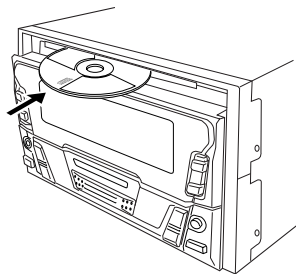
CDを聞く

— 番号順に操作します。 —



● 8センチCDの入れかた

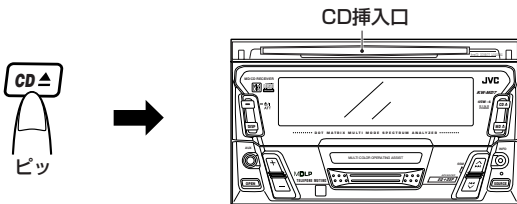
8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れます。



● CDを入れると…

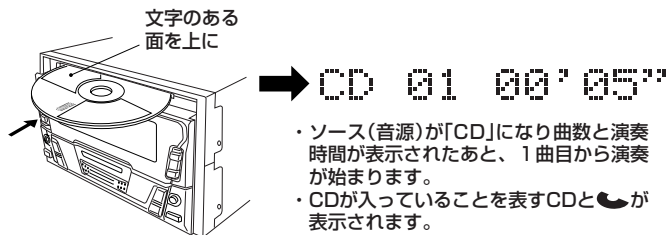
ソース(音源)は、自動的に「CD」になり演奏がスタートします。またCD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。


1 CD▲(取出し)ボタンを押す



・コントロールパネルが中に入り、CDの挿入口が現われます。電源「切」のときは、いったん電源が切れます。

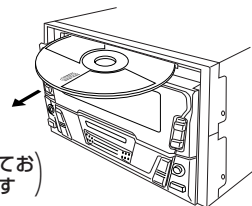
2 CDを入れる



- ・ソース(音源)が「CD」になり曲数と演奏時間が表示されたあと、1曲目から演奏が始まります。
- ・CDが入っていることを表すCDとが表示されます。

- CDを取り出すときは、CD▲(取出し)ボタンを押します。エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。CDが出てきたのち電源が切れます。

(演奏中だったCDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動的に中に引き込まれます)



CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの挿入口が閉まるまで時間がかかります。
- CD-R/RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置しないでください。
- MP3には対応していません。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。また、日本語設定で入力されたCDテキストは表示されません。

CDテキストについて

CD TEXT

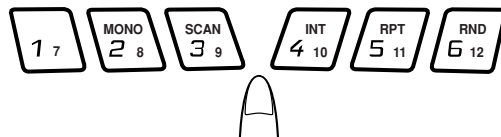


「CDテキスト」は、今までの音楽CDにアルバムタイトルや曲名、アーティスト名などの文字情報を追加した、音楽CDの新しい機能です。

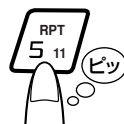
本機にCDテキスト対応のCDを入れたり、CDテキスト対応のCDチェンジャー:CH-X1200(別売り)を接続し、CDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字で「CDテキスト」データを表示します。

ダイレクト演奏

演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- 1～6 曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。
例：3 曲目のとき
- 7～12 曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。
例：11 曲目のとき



- 13 曲目以上は、演奏中にⒶボタンを押して聞きたい曲番号を選びます。⇒40 ページ 「スキップ演奏」参照

＜お知らせ＞

- 文字のある面にまたは、、のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。

CDを聞く(つづき)

1曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



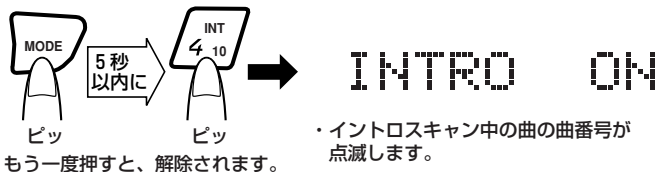
ランダム演奏

演奏中のCDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



イントロスキャン

イントロスキャン中は、曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったらイントロスキャンを解除します。



スキップ演奏(曲の頭出し)

●演奏中に次の曲を聞く



・▶ボタンを「ボン」と1回押すごとに次の曲へ次へと移り、頭から演奏が始まります。

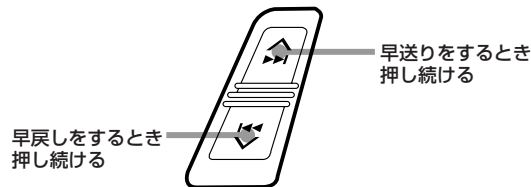
●演奏中に前の曲を聞く



・◀ボタンを「ボン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう一回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

・演奏中のCDの好みの位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。



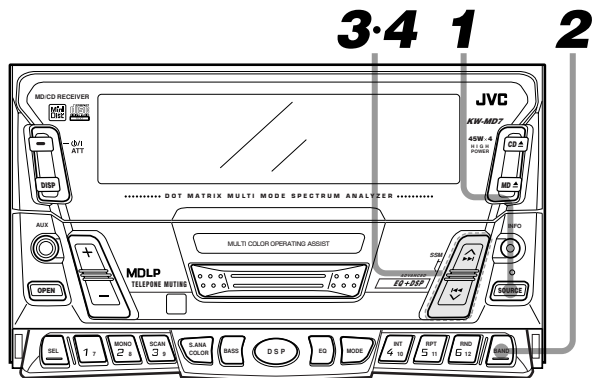
サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すと普通の演奏に戻ります。

ラジオを聞く

— 番号順に操作します。 —

マニュアル選局

電波の弱い放送局を受信したり、聞きたい放送局の周波数が分かっているときに使います。



● マニュアル選局のモードは…

選局の操作から5秒後に、マニュアル選局のモードは自動的に解除されます。シーク選局(→42ページ参照)のモードになります。

【注意】

- 交通安全のため、運転中は本機を操作しないでください。必ず停車時に操作してください。

1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を「ラジオ」にする



ラジオ → CD* → MD*
 ↑ ↓
 CD-CH* ← AUX

*本機にCDやMDが入っているとき、およびCDチェンジャーが接続されているとき

・表示窓にバンドと周波数が表示されます。お買い上げ時は、FM1 76.0が表示されます。

2 BANDボタンでバンドを選ぶ



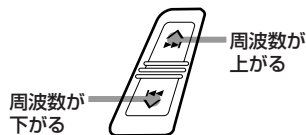
・押すごとに
 FM1 → FM2
 ↑ ↓
 AM2 ← AM1
 と変わります。
 ・AM放送はモノラル受信です。

3 選局ボタン(△または▽)を1秒以上押してマニュアル選局のモードにする



・選局ボタン(△または▽)を1秒以上押して表示窓に「MANU」を点滅させます。

4 選局ボタン(△または▽)で放送局に合わせる



	受信周波数
FM放送	76.0MHz~90.0MHz
AM放送	522kHz~1,629kHz

・1回押すとFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ移動し、押し続けると連続して変わります。

ラジオを聞く(つづき) — 番号順に操作します。 —

プリセット選局

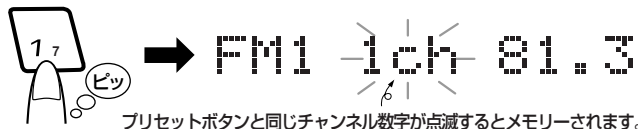
本機は、周波数を記憶しておくメモリー回路が内蔵されていますので、いったんメモリーしておけばあとはプリセットボタンを押すだけで正確な放送局の呼び出しができます。

- 操作例：FM放送の81.3MHzにある局をプリセットボタン \square_{1} にメモリーするには…

1 BANDボタンで「FM1」を選ぶ → FM1

2 選局ボタン(△または▽)で希望の放送局に合わせる

3 プリセットボタンの「 \square_{1} 」を2秒以上押す



- ・バンドごとに6局ずつメモリーできますので、上記の操作例を参考にお好きな順序でプリセットボタンにメモリーしてください。AM放送の場合でも同じ手順でメモリーできます。

ご注意

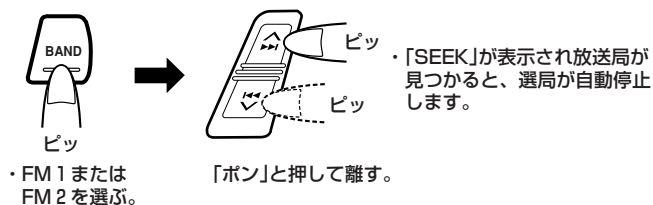
- バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れるとメモリーした局や時刻の設定は、すべて取り消されます。このようなときはもう一度メモリー操作と、時刻合わせをしてください。

シーク選局(自動選局)

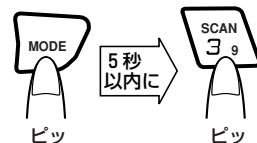
「MANU」が表示窓に表示されていないときは、選局ボタン(△または▽)を「ポン」と押すだけでチューナーが自動的に放送局を探してくれます。これをシーク選局(自動選局)といいます。

希望する放送局の周波数を正確に覚えていないときなどにお使いください。

例：FM放送のとき



スキャン選局



SCANボタンを押すと、「SCAN」が表示され自動的に周波数が高い方に移動して放送局を探します。放送を受信するごとに表示の周波数が点滅し、約5秒間モニターしていきます。

聞きたい放送局のところでもう一度、SCANボタンを押すとスキャン選局を停止し、その放送を継続して聞くことができます。

SSM(ストロングステーションメモリー)の使いかた

チューナーが自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に6局までメモリーしてくれます。

旅行先などで放送局を探すときに便利です。

●操作例：FM1にメモリーするとき

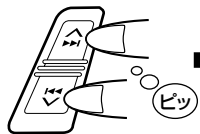
1 BANDボタンでバンドを選ぶ(FM1にする)



FM1

(選んだバンドごとにメモリーできます)

2 選局ボタンの▲と▼を同時に2秒以上押す



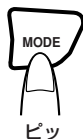
FM1 SSM

- ・チューナーが放送局を探し、自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に、プリセットボタンの[1]～[6]にメモリーしていきます。(前のメモリー内容は取り消されます)

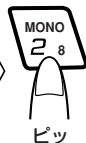
3 放送局が6局メモリーされるとプリセット1の表示になります

- ・プリセットボタン([1]～[6])を押して聞きたい放送局を選びます。(放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります)

MONOボタンの使いかた



5秒以内に



FMステレオ放送受信時に電波状態が悪くて雑音が多いとき、このボタンで切換えます。表示窓にMONO ON表示のあと「MO」が表示されモノラル受信モードになり、聞きやすくなります。

電波状態が良好になったら「ST」表示に戻してお使いください。

アンテナリモートについて

電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、**オートアンテナ** コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ソース(音源)を**ラジオ**にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。“CDチェンジャー”や“CD”、“MD”などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(**オートアンテナ**)の最大コントロール電流は250mAです)

ご注意

- 電動アンテナ装備車は、アンテナに十分ご注意ください。

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く



高速道路などの特定地域では、AM1,620kHzで道路交通情報を聞くことができます。

聞きたいところで**INFO**ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく**1,620kHz**が受信できます。

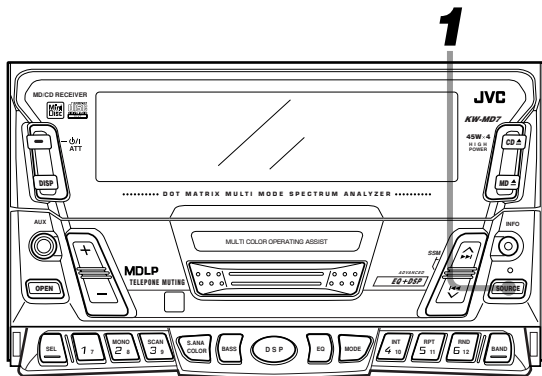
INFO 1620

- **INFO**ボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合にのみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中に**INFO**ボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量が**INFO**ボタンにメモリーされます。
- 電源を入れることもできます。

CDチェンジャーのCDを聞く

— 番号順に操作します。 —

全曲演奏 — CDチェンジャー内のマガジンにはあらかじめCDを入れておいてください。 —



1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を「CD-CH」にする→演奏が始まります



ピッ



1-01 00'05"

CD番号

曲番号

演奏経過時間

ラジオ → CD* → MD*

CD-CH ← AUX

*本機にCDやMDが入っているとき

・CDチェンジャーを演奏中に電源を切ったときは、電源が入ると、止まったときの曲から自動的に演奏が始まります。

- 最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のCDの演奏が始まります。(全マガジン内のCDのくり返し演奏になります)
- 演奏を途中でやめる
SOURCEボタンを押して他のソース(音源)に切替えます。

〈お知らせ〉

- CD演奏中に時計を表示させるときは…

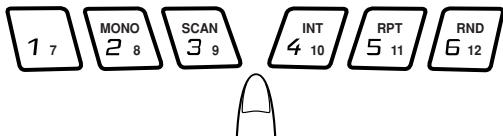
DISPボタンを使います。→ 61 ページ参照

ラジオを聞く(つづき)・CDチェンジャーのCDを聞く

CDチェンジャーのCDを聞く(つづき)

CDダイレクト選択ボタンの使いかた

聞きたいCDが分かっているときは、CDダイレクト選択ボタンを使うと便利です。CDが選ばれると、選んだCDの1曲目から演奏が始まります。



聞きたいCDが入っているディスクトレイの番号に合わせてボタンを押します。(マガジンの下から順に1・2・3…となっています)

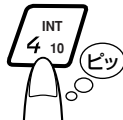
- ・ 1～6枚目を選ぶときは：大きく表示されている番号のボタンを「ボン」と押します。

例：2枚目のとき



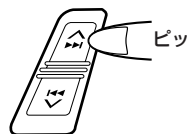
- ・ 7～12枚目を選ぶときは：小さく表示されている番号のボタンを1秒以上押します。

例：10枚目のとき



スキップ演奏(曲の頭出し)

●演奏中に次の曲を聞く



- ・ ➤ボタンを「ボン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

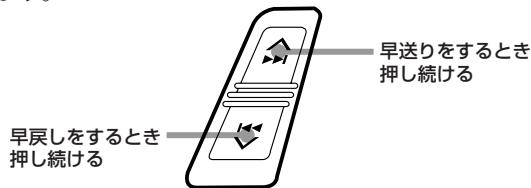
●演奏中に前の曲を聞く



- ・ ➤ボタンを「ボン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう1回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

- ・ 演奏中の曲の途中の位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。



サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すとふつうの演奏に戻ります。

ランダム演奏

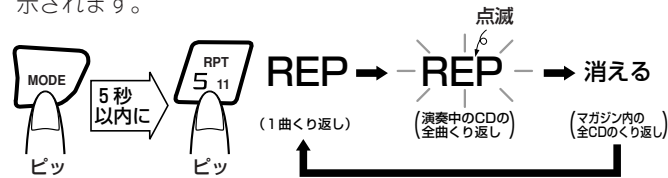
- ランダム
・RNDボタンを使うとCDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。表示窓に「RANDOM1 ON」または「RANDOM2 ON」が表示されます。



- ・押すごとに次のように動作します。
- ・RANDOM1 : 演奏中のCDの中から1曲ずつランダム演奏をします。演奏中のCDの曲が全て演奏し終わると、次のCDでランダム演奏になります。(RNDが表示窓で点灯し続けます)
- ・RANDOM2 : マガジン内の全てのCDの中から1曲ずつランダム演奏をします。(RNDが表示窓で点滅し続けます)

リピート演奏(くり返し演奏)

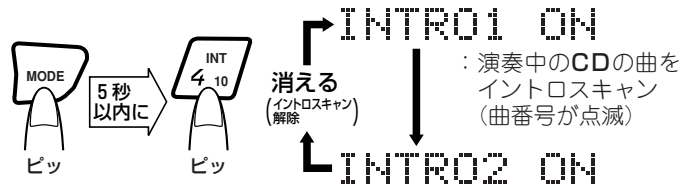
- リピート
・RPTボタンを使うと演奏中の曲をくり返して聞くことができます。表示窓に「REPEAT1 ON」または「REPEAT2 ON」が表示されます。



- ・押すごとに次のように動作します。
- ・REPEAT1 : 演奏中の1曲をくり返して聞くことができます。(REPが表示窓で点灯し続けます)
- ・REPEAT2 : 演奏中のCDの全曲をくり返して聞くことができます。(REPが表示窓で点滅し続けます)

イントロスキャン

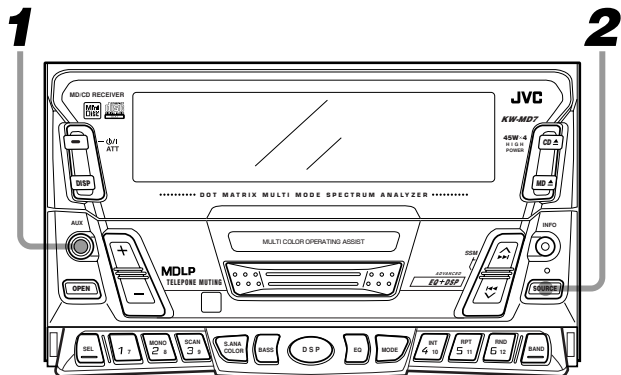
- イントロ
・INTボタンを使うと聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏します。



- ・押すごとに次のように動作します。
- ・全CDの1曲目をイントロスキャン(ディスク番号が点減)

他の機器の音を聞く

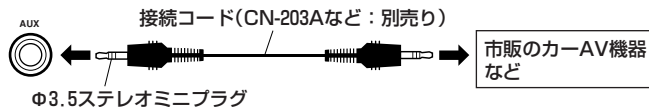
— 番号順に操作します。 —



ご注意

- 接続コードは、コントロールパネルの開閉に支障のないように、長さに余裕を持たせて固定してください。

1 他の機器をAUX端子に接続する



2 SOURCEボタンを押してソースを「AUX」にする



*本機にCDやMDが入っているとき、およびCDチェンジャーが接続されているとき

3 接続した機器を演奏状態にする

・接続した機器に音量調節があるときは、MDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。

〈お知らせ〉

●他の機器の音が小さいときは

SELボタンで「PSM AUX ADJ」を選ぶと、AUX端子の入力感度を変えることができます。⇒49ページ参照

- 表示窓の「AUX」表示を接続した機器の名称(TVやDVDなど)に変えることができます。⇒52ページ参照

AUX端子の入力感度を調節する

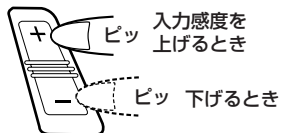
AUX端子に接続した他の機器の音が小さすぎるときは、入力感度を調節します。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▲(または▼)ボタンを「ボン・ボン」と押して「PSM AUX ADJ」を選ぶ

・ 2秒後に「AUX ADJ 00」に変わります。

3 +、- (音量)ボタンでAUXの入力感度を調節する



・ 調節範囲は
AUX ADJ 00~05です。

4 SELボタンを押す

・ 元のソース(音源)表示に戻ります。

CDの名前や放送局名などを表示させる

表示の概要


CDの名前、放送局名を表示することができます。

ソース(音源)	表示する名前	文字数
CD/CDチェンジャー*	ディスク名	1枚当たり最大32文字 を40枚分まで記憶
ラジオ	放送局名	32局分を最大12文字ずつ (自動で表示するときは含まず)

* CDテキストの表示を変えることはできません。

- MDの場合は、すでにMDにタイトル名や曲名が記録されているときに限り表示されます。本機で記憶させることはできません。また漢字で記録されているMDのタイトル名や曲名を本機で表示することはできません。

〈お知らせ〉

- 自動表示の放送局名を変更すると、メモリー数は32局より減ります。
- 放送局名を自動で表示させる地域を変更すると、 ページで入力した放送局名は全て削除されます。

放送局名を自動で表示させる

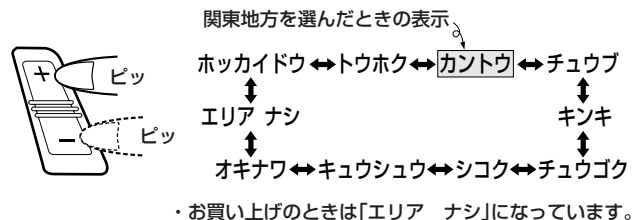
本機をご利用になる地域の放送局を受信したときは、自動で放送局名を表示させることができます。

放送局名と表示名は、 ~  ページをご覧ください。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 (または) ボタンを「ボン・ボン」と押して「PSM STATION」ステーションを選ぶ

3 +、- (音量) ボタンを押してご利用の地域を選ぶ



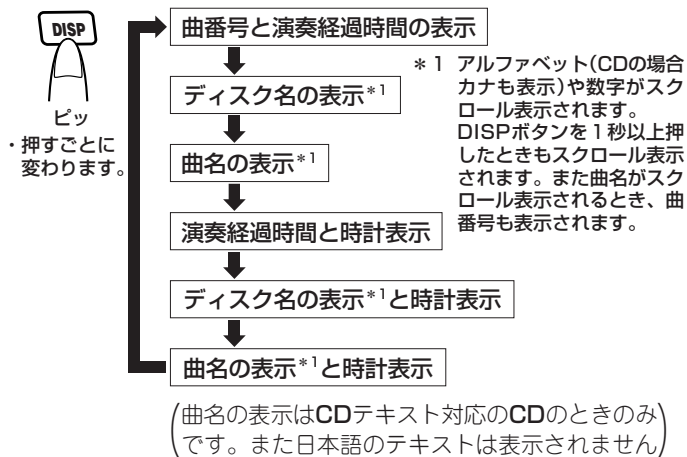
4 SELボタンを押す

・ 放送局名が表示されるようになります。

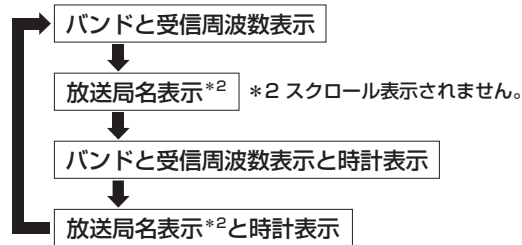
CDの名前や放送局名を表示させる

CDやラジオを聞いているときディスク名や放送局名を表示させるには、DISPボタンを使います。CDテキスト対応CDの曲名や入力した名前が表示されます。

・ CD/CDチェンジャーのとき：



・ ラジオのとき：



CDの名前や放送局名などを表示させる(つづき)

文字の入力のしかた(修正・削除)

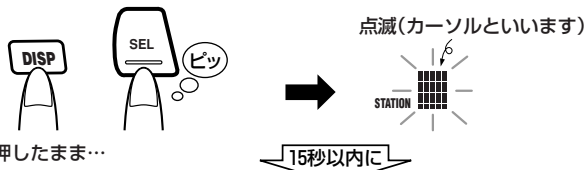
名前を入力したいときは、次の手順で入力します。入力した名前を修正(削除)するときも同じ操作になります。CD/CDチェンジャーは最大32文字(40枚)、ラジオは32局分を最大12文字まで入力できます。またAUXは12文字まで入力できます。

1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を選ぶ

・ラジオ、CD、AUX、CDチェンジャーから選びます。

2 DISPを押したままSELボタンを同時に2秒以上押す

例：ラジオを選んだとき



3 DISPボタンで文字の種類を選ぶ



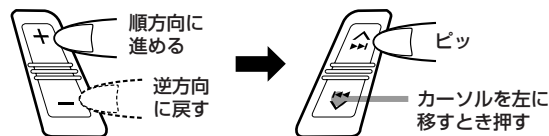
・押すごとに変わります。

カナ → 英大文字 → 英小文字 → 記号

カーソルが文字の種類と交互に点滅します。このときカーソルだけ移動するには、△ボタンを押します。

詳しくは53ページの「文字配列表」参照

4 +、-(音量)ボタン → △ボタンで名前を入力する



①文字を選び...

②カーソルを右に移す。文字が確定します。

・文字を間違えたときは、▽ボタンでカーソルを戻し+、-(音量)ボタンで正しい文字を上書きします。

5 SELボタンを押して確定する



・文字を消したいときは、4の操作のとき空白(スペース)を選び確定します。
・全て空白(スペース)を入力すると、名前を消すことができます。また▽ボタンと△ボタンを同時押ししたときも表示を消すことができます。SELボタンを押して確定すると名前を消すことができます。

〈お知らせ〉

- 41枚目のCD名または33局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。使用しない名前は消してください。

文字配列表

●カナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	
ー	。	ゝ	(空白)						

●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

●記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	”	#	\$	%	’	()	*	
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

〈お知らせ〉

●放送局名の中で・(中黒)とα(アルファ)は、入力できません。

スクロール表示のモードを変える

スクロール表示のモードを変える

表示窓のディスク名または曲名を切換えたとき1回スクロール表示されます。スクロール表示のモードは変えることができます。(放送局名は、スクロール表示されません)

1 SELボタンを2秒以上押す

2 (または) ボタンを「ポン・ポン」と押して「PSM SCROLL」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンを押してスクロールのモードを選ぶ



・+側を押すと逆に選べます。



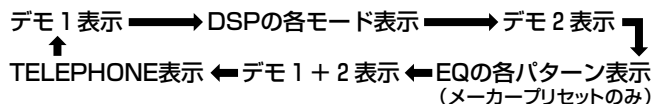
4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

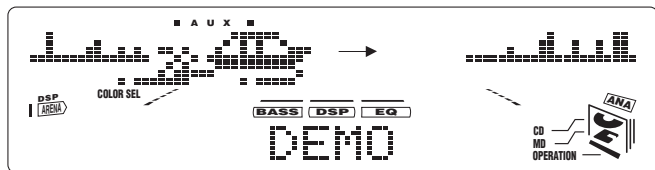
表示窓のモードを変える

●表示窓のデモ表示について

本機は、一定時間*無音状態が続くと、自動で以下のようなデモ表示を行います。



デモ表示の例



*一定時間とは：

- 初めて電源を入れたとき
- リセットボタンを押してリセットしたときは10秒
- 入力信号のない状態(ソースを「AUX」にしているときなど)が3分以上続いたとき

デモ表示を出なくするには、右の説明の「表示窓のデモモードの解除」をご覧ください。

〈お知らせ〉

- デモモードが「ON」に設定されていると、電源を「入↔切」するごとに表示窓にMDLPが表示されます。また「時」表示が変わるとき、デモ表示のあと下側の文字表示部に時刻が5秒間表示されます(CLK DEMO機能)。

表示窓のデモモードの解除/設定

表示窓のデモ表示を出なくすることができます(デモモード解除)。

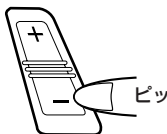
1 SELボタンを2秒以上押す



2秒以上押す。

2 ▲(または▼)ボタンを「ポン・ポン」と押して「PSM DEMO」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンの一側を押して「DEMO OFF」にする



「OFF」にするとき

・「DEMO OFF」にすると、デモ表示を出なくすることができます。「時」表示が変わっても、下側の文字表示部に時刻が移りません。
通常は、「DEMO OFF」でを使用することをお勧めします。

(デモモードを再設定するときは、+、-ボタンの+側を押して「DEMO ON」にします)

4 SELボタンを押す

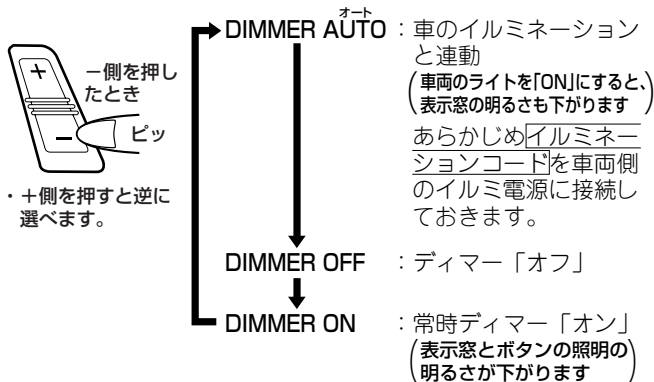
・元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓の明るさ／コントラストを変える

— 番号順に操作します。 —

表示窓の明るさを変える

- 1 SELボタンを2秒以上押す
- 2 ▲(または▼)ボタンを「ボン・ボン」と押して「PSM DIMMER」を選ぶ
- 3 +、- (音量)ボタンでディマーのモードを選ぶ



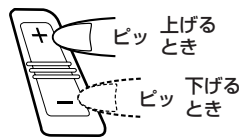
- 4 SELボタンを押す

・ 元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓のコントラストの調節

表示窓の文字表示部が見えにくいときには、コントラストを調節します。

- 1 SELボタンを2秒以上押す
- 2 ▲(または▼)ボタンを「ボン・ボン」と押して「PSM CONTRAST」を選ぶ
- 3 +、- (音量)ボタンでコントラストを調節する



- ・ 「CONTRAST 1～10」までの範囲で調節できます。運転席から表示窓を見て、見やすくなるように設定します。
- ・ お買い上げ時は、「CONTRAST 5」になっています。

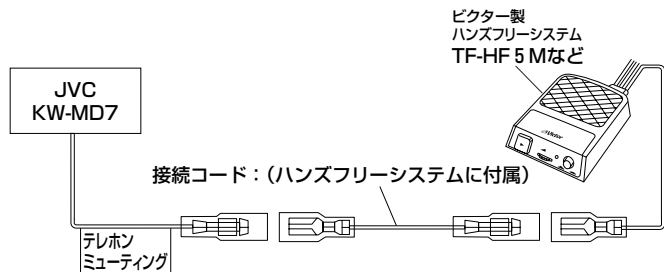
- 4 SELボタンを押す

・ 元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓のモードを変える・表示窓の明るさ／コントラストを変える

テレホンミュートについて

接続のしかた



- 接続については、別冊の取付説明書をご覧ください。

テレホンミュートとは

ピクチャー製のハンズフリーシステム：TF-HF 5 Mなどと接続した携帯電話やPHSに着信すると、「TELEPHONE」と通話時間が表示され本機の音が自動的に出なくなります。これをテレホンミュートという通話しやすくなります。

相手が切る*と自動で本機からの音が出るように戻ります。

- * ピクチャー製のハンズフリーシステムは、自動着信&自動終了方式となっております。こちらで通話をON/OFFする必要はありません。

〈お知らせ〉

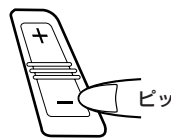
- ピクチャー製のハンズフリーシステムに適用する携帯電話やPHSは、ハンズフリーシステムのカatalog・取扱説明書をご覧ください。また日本ピクチャーのホームページでもご覧になれます。
日本ピクチャーのホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

テレホンミュートのモードを変える

1 SELボタンを2秒以上押す

2 △(または▽)ボタンを「ポン・ポン」と押して「PSM TEL」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンを押してミュートのモードを選ぶ



MUTING ON : テレホンミュートを
使うとき (お買い上げの
状態)

MUTING OFF : テレホンミュートを
使わないとき

- ・ +側を押すと「MUTING ON」に戻せます。

(-側を押したとき)

4 SELボタンを押す

- ・ 元のソース (音源) 表示に戻ります。

MD/CDの盗難防止について

本機に入れたMDやCDを、他の人が取り出せなくすることができます。

MDの場合



- ・「ノ MD EJECT」が点滅表示され、MDの取り出しができなくなります。
- ・もう一度同じ操作をすると、「MD EJECT OK」が点滅表示されMDの取り出しができます。

CDの場合



- ・「NO CD EJECT」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。
- ・もう一度同じ操作をすると、「CD EJECT OK」が点滅表示されCDの取り出しができます。

〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと「NO MD EJECT」および「NO CD EJECT」は解除されます。

放送局名一覽

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	〃	旭川	85.8MHz
	〃	〃	北見	86.0MHz
北海道(FM)	〃	〃	函館	87.0MHz
	〃	〃	帯広	87.5MHz
	〃	〃	室蘭	88.0MHz
	〃	〃	釧路	88.5MHz
	北海道(FM)	NHK第1	NHKダイ1	札幌
〃		〃	釧路	585kHz
〃		〃	帯広	603kHz
〃		〃	旭川	621kHz
STVラジオ		STVラジオ	函館	639kHz
北海道(FM)	NHK第1	NHKダイ1	〃	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	北見	702kHz
	〃	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	〃	室蘭	864kHz
	STVラジオ	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	STVラジオ	帯広	1,071kHz
NHK第2	NHKダイ2	室蘭	1,125kHz	
〃	〃	帯広	1,125kHz	
北海道(FM)	〃	〃	釧路	1,152kHz
	NHK第1	NHKダイ1	北見	1,188kHz
	STVラジオ	STVラジオ	旭川	1,197kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	帯広	1,269kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
北海道(AM)	HBCラジオ	HBCラジオ	札幌	1,287kHz	
	〃	〃	稚内	1,368kHz	
	〃	〃	内路	1,404kHz	
	STVラジオ	STVラジオ	札幌	1,440kHz	
	HBCラジオ	HBCラジオ	網走	1,449kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	函館	1,467kHz	
北海道(AM)	HBCラジオ	HBCラジオ	名寄	1,494kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	旭川	1,602kHz	
	東北海道(FM)	FM岩手	FMイワテ	盛岡	76.1MHz
		FM仙台	Date FM	仙台	77.1MHz
		エフエム青森	エフエムアオモリ	青森	80.0MHz
		FM山形	FMヤマガタ	山形	80.4MHz
ふくしまFM		フクシマFM	郡山	81.8MHz	
東北海道(FM)	NHK-FM	NHK-FM	山形	82.1MHz	
	〃	〃	仙台	82.5MHz	
	FM秋田	FMアキタ	秋田	82.8MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	盛岡	83.1MHz	
	〃	〃	福島	85.3MHz	
東北海道(FM)	〃	〃	青森	86.0MHz	
	〃	〃	秋田	86.7MHz	
	東北海道(FM)	NHK第1	NHKダイ1	盛岡	531kHz
		〃	〃	山形	540kHz
		IBC岩手放送	IBCイワテホウソウ	盛岡	684kHz
NHK第2		NHKダイ2	秋田	774kHz	
東北海道(FM)	NHK第1	NHKダイ1	仙台	891kHz	
	北(AM)	山形放送	ヤマガタホウソウ	山形	918kHz
		秋田放送	アキタホウソウ	秋田	936kHz
		NHK第1	NHKダイ1	青森	963kHz
NHK第2		NHKダイ2	仙台	1,089kHz	
北(AM)	青森放送	アオモリホウソウ	青森	1,233kHz	
	東北放送	トウホクホウソウ	仙台	1,260kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
東北(AM)	NHK第1	NHKダイ1	福島	1,323kHz
	NHK第2	NHKダイ2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	ラジオフクシマ	福島	1,458kHz
	NHK第1	NHKダイ1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山形	1,521kHz
	AFN	AFN	三沢	1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福島	1,602kHz
関東地方(FM)	インター FM	インターFM	東京	76.1MHz
	FM 栃木	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	ハウソウダイガク	東京	77.1MHz
	BAY-FM	船橋	東 京	78.0MHz
	FM-FUJI	FM-FUJI	三 峡	78.6MHz
	放送大学	ハウソウダイガク	前 橋	78.8MHz
	NACK 5	NACK 5	浦 和	79.5MHz
	TOKYO FM	TOKYO FM	東 京	80.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	∕	∕	千葉	80.7MHz
J-WAVE	J-WAVE	東 京	81.3MHz	
関東地方(FM)	NHK-FM	NHK-FM	前 橋	81.6MHz
	∕	∕	横 浜	81.9MHz
	∕	∕	東 京	82.5MHz
	∕	∕	水 戸	83.2MHz
	FMヨコハマ	FMヨコハマ	横 浜	84.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	浦 和	85.1MHz
	FM群馬	FMグンマ	前 橋	86.3MHz
関東地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	東 京	594kHz
	NHK第2	NHKダイ2	∕	693kHz
	AFN	AFN	∕	810kHz
	TBSラジオ	TBSラジオ	∕	954kHz
	文化放送	ブンカハウソウ	∕	1,134kHz
	茨城放送	イバラキハウソウ	水 戸	1,197kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
関東地方(AM)	ニッポン放送	ニッポンハウソウ	東 京	1,242kHz
	ラジオ日本	ラジオニッポン	横 浜	1,422kHz
中部地方(FM)	栃木放送	トチギハウソウ	宇都宮	1,530kHz
	FM福井	FMフクイ	福 井	76.1MHz
	FM新潟	FMニイガタ	新 潟	77.5MHz
	ZIP FM	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	K-MIX	K-MIX	静 岡	79.2MHz
	RADIO-i	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	FM ナガノ	美ヶ原	79.7MHz
	FM石川	FM イシカワ	金 沢	80.5MHz
	FM AICHI	FMA	名古屋	80.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	富 山	81.5MHz
中部地方(FM)	∕	∕	金 沢	82.2MHz
	∕	∕	新 潟	82.3MHz
	∕	∕	名古屋	82.5MHz
	FM とやま	FM トヤマ	富 山	82.7MHz
	FM-FUJI	FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	福 井	83.4MHz
	∕	∕	阜 野	83.6MHz
	∕	∕	岐 野	84.0MHz
	∕	∕	甲 府	85.6MHz
	∕	∕	静 岡	88.8MHz
中部地方(AM)	NHK第2	NHKダイ2	静 岡	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	富 山	648kHz
	∕	∕	名古屋	729kHz
	北日本放送	キタニホンハウソウ	富 山	738kHz
	YBSラジオ	YBSラジオ	甲 府	765kHz
NHK第1	NHKダイ1	長 野	819kHz	

放送局名一覧(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
中部地方(A・M)	NHK第1 福井放送	NHKダイ1 フクイハウソウ	新潟 福井	837kHz 864kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	静岡	882kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	名古屋	909kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	福井	927kHz	
	∕	∕	甲府	927kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	富山	1,035kHz	
	CBCラジオ 信越放送	CBCラジオ シンエツハウソウ	名古屋	1,053kHz	
	北陸放送	シンエツハウソウ	長野	1,098kHz	
	新潟放送	ホクリクハウソウ	金沢	1,107kHz	
	NHK第1	ニイガタハウソウ NHKダイ1	新潟 金沢	1,116kHz 1,224kHz	
中部地方(A・M)	東海ラジオ NHK第2	トウカイラジオ NHKダイ2	名古屋	1,332kHz	
	静岡放送	シズオカハウソウ	金沢	1,386kHz	
	岐阜ラジオ NHK第2	ギフラジオ NHKダイ2	静岡	1,404kHz	
	∕	∕	岐阜	1,431kHz	
	∕	∕	長野	1,467kHz	
	∕	∕	福井	1,521kHz	
	∕	∕	新潟	1,593kHz	
	∕	∕	甲府	1,602kHz	
	近畿地方(F・M)	FM CO・CO・LO E-Radio	FM CO・CO・LO E-Radio	生駒山	76.5MHz
		Kiss-FM KOBE	Kiss-FM KOBE	滋賀	77.0MHz
FM 三重		FM ミエ	姫路	77.6MHz	
FM 802		FM 802	津	78.9MHz	
			大阪	80.2MHz	
近畿地方(F・M)	NHK-FM	NHK-FM	津	81.8MHz	
	∕	∕	京都	82.8MHz	
	∕	∕	大津	84.0MHz	
	∕	∕	和歌山	84.7MHz	
	FM 大阪	fm osaka	大阪	85.1MHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
近畿地方(F・M)	NHK-FM	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	∕	∕	奈良	87.4MHz
近畿地方(A・M)	FM 京都	α-STATION	大阪	88.1MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM KOBE	京都	89.4MHz
			神戸	89.9MHz
	AM KOBE NHK第1	AM KOBE NHKダイ1	神戸	558kHz 621kHz
	∕	∕	大阪	666kHz
近畿地方(A・M)	NHK第2	NHKダイ2	大阪	828kHz
	ABCラジオ	ABCラジオ	∕	1,008kHz
	KBS京都	KBSキョウト	京都	1,143kHz
	MBSラジオ	MBSラジオ	大阪	1,179kHz
	ラジオ大阪 和歌山放送	ラジオオオサカ ワカヤマハウソウ	∕ 和歌山	1,314kHz 1,431kHz
中国地方(F・M)	岡山エフエム放送	FMオカヤマ	岡山	76.8MHz
	エフエム山陰	エフエムサンイン	松江	77.4MHz
	広島FM	ヒロシマFM	広島	78.2MHz
	FM 山口	FMヤマグチ	山口	79.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	松江	84.5MHz
中国地方(F・M)	∕	∕	山口	85.3MHz
	エフエム山陰	エフエムサンイン	鳥取	85.8MHz
	NHK-FM	NHK-FM	浜島	86.6MHz
	∕	∕	岡山	88.3MHz
			岡山	88.7MHz
中国地方(A・M)	NHK第1	NHKダイ1	岡山	603kHz
	∕	∕	山口	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	広島	702kHz
	山口放送	ヤマグチハウソウ	山子	765kHz
	山陰放送	サンインハウソウ	米子	900kHz
NHK第1	NHKダイ1	下関	1,026kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中国地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	広島	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	広島	1,125kHz
	NHK第1	NHKダイ1	松江	1,296kHz
	中国放送	チュウゴクハウソウ	広島	1,350kHz
	NHK第1	NHKダイ1	広島	1,368kHz
中国地方(FM)	NHK第2	NHKダイ2	山口	1,377kHz
	〃	〃	岡山	1,386kHz
	山陽放送	サンヨウハウソウ	岡山	1,494kHz
	AFN	AFN	山口	1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	松江	1,593kHz
四国地方(FM)	FM香川	FMカガワ	高松	78.6MHz
	FM愛媛	FMエヒメ	高松	79.7MHz
	FM徳島	FMトクシマ	徳島	80.7MHz
	FM高知	FMコウチ	高知	81.6MHz
	NHK-FM	NHK-FM	徳島	83.4MHz
四国地方(AM)	〃	〃	高松	86.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	高知	87.5MHz
	〃	〃	高山	87.7MHz
四国地方(FM)	高知放送	コウチハウソウ	高知	900kHz
	NHK第1	NHKダイ1	徳島	945kHz
	〃	〃	松山	963kHz
	〃	〃	高知	990kHz
	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,035kHz
四国地方(AM)	南海放送	ナンカイハウソウ	高松	1,116kHz
	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,152kHz
	四国放送	シコクハウソウ	高松	1,269kHz
	NHK第1	NHKダイ1	高松	1,368kHz
	西日本放送	ニシニホンハウソウ	〃	1,449kHz
NHK第2	NHKダイ2	松山	1,512kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州地方(FM)	Love FM	Love FM	福岡	76.1MHz
	FM中九州	FMナカキュウシュウ	熊本	77.4MHz
	FM佐賀	FMサガ	佐賀	77.9MHz
	CROSS FM	CROSS FM	福岡	78.7MHz
	SMILE-FM	SMILE-FM	福岡	79.5MHz
九州地方(AM)	FM鹿児島	FMカゴシマ	鹿児島	79.8MHz
	FM福岡	FMフクオカ	福岡	80.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
	FM宮崎	FMミヤザキ	宮崎	83.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	長崎	84.5MHz
九州地方(FM)	〃	〃	福岡	84.8MHz
	〃	〃	熊本	85.4MHz
	NHK-FM	NHK-FM	鹿児島	85.6MHz
	〃	〃	北九州	85.7MHz
	〃	〃	佐世保	86.0MHz
九州地方(AM)	〃	〃	宮崎	86.2MHz
	FM大分	FMオオイタ	大分	88.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	〃	88.9MHz
	NHK第1	NHKダイ1	宮崎	540kHz
	〃	〃	鹿児島	576kHz
九州地方(FM)	〃	〃	福岡	612kHz
	NHK第1	NHKダイ1	大分	639kHz
	〃	〃	長崎	684kHz
	〃	〃	熊本	756kHz
	NHK第2	NHKダイ2	熊本	873kHz
九州地方(AM)	宮崎放送	ミヤザキハウソウ	宮崎	936kHz
	NHK第1	NHKダイ1	佐賀	963kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福岡	1,017kHz
	大分放送	オオイタハウソウ	大分	1,098kHz
	南日本放送	ミナミニホンハウソウ	大分	1,107kHz
熊本放送	クマモトハウソウ	熊本	1,197kHz	

放送局名一覧(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州地方(A・M)	長崎放送	ナガサキホウソウ	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長崎	1,377kHz
	∕	∕	鹿児島	1,386kHz
	KBCラジオ	KBCラジオ	福岡	1,413kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大分	1,467kHz
	∕	∕	宮崎	1,467kHz
	AFN	AFN	佐世保	1,575kHz
沖縄(F・M)	FM 沖縄	FM オキナワ	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN-沖縄	FM AFN	∕	89.1MHz
沖縄(A・M)	NHK第1	NHKダイ1	沖縄	549kHz
	AFN	AFN	∕	648kHz
	琉球放送	リュウキュウホウソウ	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	ラジオオキナワ	∕	864kHz
	NHK第2	NHKダイ2	∕	1,125kHz

・ 2000年10月現在の主な放送局と周波数です。

保証書とアフターサービス

●保証書の記載内容ご確認と保存について

この製品には、保証書が添付されております。

保証書はお買い上げの販売店でお渡しますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理致します。

その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。

●補修用性能部品の保有期間について

当社はこのカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。

この期間は通産省の指導によるものです。

●アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店、または添付の「サービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

1. まずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、故障かどうか再度お調べください。
2. それでも正しく動作しないときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

・ JVC MD/CDレシーバー：KW-MD7

・ お名前とおとこ

・ 電話番号

・ 故障の状態(詳しく)：例 CDの演奏音が出ない。

別売りアクセサリ

・ クリーニングキット：CK-25(CD用)

・ MDレンズクリーナー：CL-ML

・ RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)

CN-510E(長さ1m)

CN-520E(長さ2m)

・ 接続コード(ステレオミニプラグ)：CN-203A(長さ1.5m)

こんなときは — 「故障かな?」と思ったら… —

修理を依頼される前に、まず次の項目をお確かめください。

それでも直らないときは故障によることが考えられますので、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	・ 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作しているため。	・ リセットボタンを押して内蔵のマイコンをリセットする。➡ 11 ページ参照 (時計や放送局などのメモリーが取り消され、初期状態に戻ります)
MD▲(取出し)ボタンまたはCD▲(取出し)ボタンを押してもMDまたはCDの取り出しができない。	・ 盗難防止状態になっている。 ➡ 12 ページ参照	・ MDの場合 SOURCEボタンを押したままMD▲(取出し)ボタンを同時に2秒以上押す。 ・ CDの場合 SOURCEボタンを押したままCD▲(取出し)ボタンを同時に2秒以上押す。 「EJECT OK」が表示されMDまたはCDの取り出しができます。
CDやMDの演奏が始まらない。	・ 内部のレンズが結露している。	・ 電源を入れたまま約1~2時間待つ。
FM放送(AM放送)がうまく受信できない。	・ オートアンテナコントロール端子(またはアンテナアンプ電源端子)に「 オートアンテナ 」コードが接続されていない。	・ 「 オートアンテナ 」コードを接続する。
FM放送(AM放送)の雑音が多い。	・ 放送局の周波数に正しく合っていない。	・ 放送局に正しく合わせる。
	・ 放送局の電波が弱い。	・ 他の放送局を選局する。

症 状	原 因	処 置
「DISC ERROR」が表示される。	・ MDまたはCDの読み取りでエラーが発生したため。	・ MD▲(取出し)ボタンまたはCD▲(取出し) ボタンを押したあとMDまたはCDを入れ直す。
「BLANK DISC」が表示されMDが出てくる。	・ 録音していないMDを入れたため。	・ 録音済みのMDと交換する。
「NO NAME」が表示される。	・ 名前が登録されていないときDISPボタンを押したため。	・ 名前を登録する。 → 60 62 ページ参照
「HIGH TEMP」が表示される。	・ 本機の内部の温度が異常に高くなっている。	・ FM放送などに切換え、温度が下がるまで待つ。
「NO PRE ADJ.」が表示される。	・ 雑音などの影響でプリセットデータに異常が発生している。	・ お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。
MDの曲名が正しく表示されない。 (MDLPで録音したMDのとき)	・ 曲名の頭に「LP:」が記録されているため。	・ 曲名の頭に「LP:」が記録されていると、正しく表示されないことがあります。
ディスクの出し入れのとき、音が途切れる。 (コントロールパネル動作時)	・ ディスクの出し入れのときは、音声にミュートイングをかけ雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。	

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- 信号読み取り方式：非接触光学式読み取り
(半導体レーザー、 $\lambda = 780\text{nm}$ 使用)
- エラー訂正方式：クロスインターリーブリードソロモンコード
- チャンネル数：2チャンネル
- 周波数特性：5 Hz~20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：99dB
- ワウ・フラッター：測定限界以下

MDプレーヤー部

- 型 式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
- 信号読み取り方式：非接触光学式読み取り
(半導体レーザー、 $\lambda = 780\text{nm}$ 使用)
- サンプリング周波数：44.1kHz
- 音声圧縮方式：ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：20Hz~20kHz
- ダイナミックレンジ：88dB
- S N 比：93dB
- ワウ・フラッター：測定限界以下

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクタ×1
オートアンテナコントロール電源コード付
- FMチューナー部
 - 受信周波数：76.0MHz~90.0MHz
 - 実用感度：14.3dBf(1.43 μV /75 Ω)
- AMチューナー部
 - 受信周波数：522kHz~1,629kHz
 - 実用感度：27dB μ (22.4 μV)

デジタル シグナル プロセッサ部

- メーカープリセットモード：アリーナ、チャーチ、シアター、ディスコ、ライブ、オペラ、ボーカルキャンセル
- フォーカス：全席モード/運転席モード/助手席モード/前席モード

グライコ部

- グライコ中心周波数：50Hz、80Hz、120Hz、700Hz、1 kHz、2 kHz、8 kHz、12kHz、
- コントロール範囲： $\pm 12\text{dB}$ (2 dBステップ)
- メーカープリセットモード：ユーロビート、メロウコア、レゲエ、Jポップ、リズム&ブルース、ハードロック、ヒップポップ、ジャズ、カントリー

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント/リア 45W+45W(4Ω、1kHz)
- 適合インピーダンス：4Ω(4Ω～8Ωで使用可能)
- 入力端子：DINジャック(8ピン)×1、CDチェンジャー
接続用1.5V/20kΩ
AUX(φ3.5ステレオミニ)×1
- 出力端子：RCA端子(1系統)、2.0V/1kΩ
スピーカーコード(2系統、ギボシ型)

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 時刻表示：12時間表示法
- 取付寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行160mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行173mm
- 質量：約2.8kg(付属品含まず)

付属品

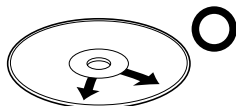
・リモコン(RM-RK36).....	1
・電池(CR2025、リモコン動作確認用).....	1
・接続コード(16ピンコネクター).....	1
・ネジ(M5×6mm).....	8
・皿ネジ(M5×6mm).....	8
・マウンティングプレート(日産車用).....	1
・金具.....	2
・ネジ(M2×2.5mm).....	2

- 本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

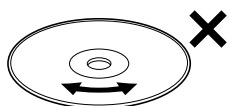
お手入れ

CD(コンパクトディスク)のお手入れ

本機に入れる前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因になります。

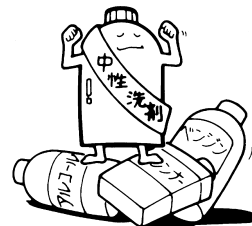
☒シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

本機の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶき**してください。
汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

ご注意

☒シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

お問い合わせ先

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1 ☎ダイヤルイン(027)254-8926